

彦根市一般廃棄物処理基本計画

(平成26年度～平成34年度)の進捗状況評価

平成27年〇月

彦根市廃棄物減量等推進審議会

減量・資源化目標数値に対する総合評価

B

評価平均点 2.00 点

(平成 25 年度 評価平均点 1.44 点)

- 凡例
- A : 進捗管理値より進んでいる
 - B : 進捗管理値より遅れている
 - C : 平成 25 年度よりも悪化している

※平成26年度減量・資源化目標数値に対する総合評価については、ごみ処理編と地域行動計画編双方の『総合実績とその評価』において、「目標値と実績値」を○、△、×で評価したものを、下記の方法により点数化し評価している。

点数・・・ ○:3点、△:2点、×:1点

評価・・・平均点が

2.5点以上 ⇒ A、1.5点以上～2.5点未満 ⇒ B、1.5点未満 ⇒ C

減量・資源化施策の取組状況に対する総合評価

B

評価平均点 2.30 点

(平成 25 年度 評価平均点 2.00 点)

- 凡例
- A : 取組が十分されている
 - B : 取組はされているが不十分
 - C : 取組がされていない

※平成26年度減量・資源化施策の取組状況に対する総合評価については、ごみ処理編での『施策ごとの取組状況とその評価』および地域行動計画編での『目標ごとの取組状況とその評価』において、○、△、×で評価したものを、上記の減量・資源化目標数値に対する総合評価と同様に評価している。

目次

ページ

ごみ処理編

| | |
|-------------------------|----|
| 1. 趣旨 | 1 |
| 2. 基本計画の取組状況について | 1 |
| 1) 総合実績とその評価 | 1 |
| 2) 総合実績とその評価の概要 | 2 |
| 3) 総合実績とその評価の詳細 | 4 |
| (1) ごみ等排出量を減らすための取組について | 5 |
| (2) 再生利用率を上げるための取組について | 11 |
| (3) 最終処分量を減らすための取組について | 11 |
| (4) 焼却量を減らすための取組について | 11 |

地域行動計画編

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 趣旨 | 15 |
| 2. 行動計画の取組状況について | 15 |
| 1) 総合実績とその評価 | 15 |
| 2) 目標ごとの取組状況とその評価 | 16 |
| (1) 1人1日あたりのごみ等排出量を減らすための取組について | 17 |
| (2) 1人1日あたりの生ごみ排出量を減らすための取組について | 17 |
| (3) 古紙・衣類の資源化量を増やすための取組について | 19 |
| (4) 出前講座やイベント参加者を増やすための取組について | 19 |

| | |
|------|----|
| 総合評価 | 21 |
|------|----|

資料編

| | |
|---------------------------------|----|
| 廃棄物処理フロー図 | 22 |
| 表1・図1 ごみ等排出量の実績および進捗管理値 | 24 |
| 表2・図2 再生利用率の実績および進捗管理値 | 27 |
| 表3・図3 最終処分量の実績および進捗管理値 | 28 |
| 表4・図4 焼却量の実績および進捗管理値 | 29 |
| 表5・図5 1人1日あたりのごみ等排出量の実績および進捗管理値 | 30 |
| 表6・図6 1人1日あたりの生ごみ排出量の実績および進捗管理値 | 31 |
| 表7・図7 古紙・衣類の資源回収量の実績および進捗管理値 | 32 |
| 表8・図8 出前講座等ののべ参加者数実績および進捗管理値 | 34 |
| 表9・図9 許可業者による事業系一般廃棄物搬入量の推移 | 35 |
| 表10・図10 事業系一般廃棄物 直接搬入量の推移 | 36 |

平成 26 年度 一般廃棄物処理基本計画の取組状況について

ごみ処理編

1. 趣旨

一般廃棄物処理基本計画（平成 26 年度から平成 34 年度）の着実な推進を図っていくため、施策の進捗状況について評価を行い、今後の取組の方向性を明らかにするなど、基本計画の取組状況について報告するものです。

2. 基本計画の取組み状況について

1) 総合実績とその評価

ア) 目標値と実績値

| | 基準 (H23) | H25 実績 | H26 実績 | H26 進捗管理値※ | 目標 (H34) | 評価 |
|------------|----------|--------|--------|------------|----------|----|
| ごみ等排出量 (t) | 44,537 | 45,752 | 43,167 | 42,417 | 37,000 | △ |
| (g/人・日)※ | 1,086 | 1,112 | 1,050 | 1,029 | 899 | △ |
| 再生利用率 (%) | 14.2 | 13.0 | 12.8 | 16.8 | 20 | × |
| 最終処分量 (t) | 7,256 | 7,959 | 6,876 | 6,695 | 5,200 | △ |
| 焼却量 (t) | 35,061 | 36,957 | 35,690 | 33,163 | 28,100 | △ |

※g/人・日：1人1日あたりのごみ等排出量

※進捗管理値：平成 34 年の目標を達成するために、各年度に達成すべき値

表：目標値と実績値の評価凡例

「○」：ごみ排出量が、進捗管理値に達しているまたは下回っている。

再生利用率が、進捗管理値に達しているまたは上回っている。

「△」：平成 25 年度と比較してごみ排出量は減少しているが、進捗管理値には達していない。

平成 25 年度と比較して再生利用率は増加しているが、進捗管理値には達していない。

「×」：平成 25 年度と比較してごみ排出量が増加している。

平成 25 年度と比較して再生利用率が減少している。

イ) 目標と実績

○ごみ等の減量の状況（資料編：表 1・図 1・表 5・図 5）

すべてのごみ種において、排出量が平成 25 年度と比較し減少している。特に粗大ごみおよび埋立ごみの排出量が減少している。基準年の平成 23 年度と比べてごみ総排出量は減少しているが、進捗管理値に約 1.7% 達していない。また、市民 1 人 1 日あたりの排出量については、進捗管理値に約 2.0% 達していない。

○再生利用率の状況（資料編：表 2・図 2）

資源の回収量は、ごみ全体の排出量の減少割合より多く減少している。その為、再生利用率（リサイクル率）も減少しており、進捗管理値には達していない。

○最終処分の状況（資料編：表3・図3）

中山投棄場への埋立ごみ量は、基準年の平成23年度と比べ約22%減少しており進捗管理値を達成できている。また、大阪湾広域臨海環境整備センター（大阪湾フェニックスセンター）で処分される焼却灰の量は、燃やすごみや粗大ごみの排出量が減ったことにより、前年度と比較して減少しているが、基準年の平成23年度と比べ約2.7%増加しており進捗管理値は達成できていない。最終処分量については基準年と比較して減少しているものの、進捗管理値に約2.7%達していない。

○焼却の状況（資料編：表4・図4）

燃やすごみについては基準年と比較して増加しているが、平成26年4月1日から粗大ごみ処理手数料の無料枠を廃止したことにより、平成26年度においては粗大ごみの搬入量が大きく減少している。その為、中間処理からの残渣焼却量が減少しているが、燃やすごみの量が増加しているため、焼却量としては基準年と比較して約1.8%増加しており進捗管理値に約7.1%達していない。

2) 総合実績と評価の概要

「2R(リデュース：発生抑制・リユース：再使用)の推進」に関する評価

2Rを推進していく上で重要なことは、情報の「みえる化」であると考えている。現在、彦根市では広報やホームページなどを使用して、情報の提供に努めている。情報を積極的に提供していく事で、情報が市民の中に浸透してきていると感じるが、すべての市民に行き渡っているとは言えない。様々な媒体を利用して、分かりやすい情報の提供に努めていただきたい。

「事業系ごみの適正排出」に関する評価

平成27年4月1日に「彦根市事業系一般廃棄物減量等に関する指導要綱」が施行されており、事業系の廃棄物の減量・資源化が進むことに期待する。しかし対象が大規模な施設を有する事業者であり、彦根市における事業者の大半を占める中小企業者が対象となっていない。中小企業に対する対策も重要であると考えているので、中小企業に対する対策も検討いただきたい。

また、彦根市独自の「廃棄物減量・資源化認定制度」などを作り、事業者を認定・表彰することで、企業におけるごみ減量・資源化に対するメリットを示す方法を検討いただきたい。

「事業者との連携」に関する評価

今後、ごみ減量・資源化の施策を進めていく上で、事業者と連携して行くことは大変重要な役割を占めていくと考えられる。現状、彦根市の活動において連携は実施されているものの、施策を積極的に推進していくには十分であるとは言えない。様々な業種の事業者との連携を深めることにより、広い角度からの施策展開が期待できるので、積極的な事業者との連携を進めていただきたい。

「越境ごみ対策の強化」に関する評価

越境ごみ対策については、平成26年度に実施した対策が、一定の効果を示していると評価できる。しかし、「ごみ処理手数料の改定」や「搬入物検査の強化」は一定の期間が経過すると、排出量の「リバウンド」も懸念されることから、引続きの対策だけでなく新しい対策を検討していただき、より一層の越境ごみの削減

に努めていただきたい。

「新たな回収区分拡大による再生利用の推進」に関する評価

平成 26 年度は、小型家電が新たに分別区分として加わり、平成 27 年度についても草木・剪定枝や蛍光管が新たな分別区分として加わる計画を進められている。この様に新たに分別区分を設けて今までリサイクルできていなかった「資源」をリサイクルしていく事は、評価することが出来る。今後も新たな技術に目を向け、新技術の積極的な検討に取り組んでいただきたい。

「硬質プラスチックや陶器類の選別により、最終処分量を減らす」に関する評価

蛍光管については、平成 27 年度より分別回収を計画していることについては評価できる。しかし、「埋立ごみ」には蛍光管以外にも多くの資源物が混入しており、その分別や選別の検討が必要である。蛍光管以外にも分別区分の設定や、出前講座等における分別マナーの向上を呼びかけていただきたい。

「「雑がみ」、「衣類」の資源化の推進」に関する評価

「雑がみ」や「衣類」などはリサイクルできるのに、そのことを知らないことで「燃やすごみ」として処理されてしまうものが多くあると考えられる。特に「雑がみ」はリサイクルの可否の判断が難しいところではあるが、積極的な情報提供を行っていくことで、「燃やすごみ」に出されている「雑がみ」が少しでもリサイクルに回ること期待する。

「「生ごみ」の減量・資源化の推進」に関する評価

燃やすごみの中で多くを占める、生ごみの減量化を進めて行くことは、ごみ減量を進めていく中で重要な課題の一つと考える。現在、彦根市では多くの市民団体が生ごみの減量に向けて自主的に活動に取り組まれており、大変評価できる。市はこれらの活動が更に発展していくよう、広報や啓発活動、金銭的な補助も含めて引続き連携を取って、事業を進めて頂きたい。

「「草木・剪定枝・流木など」の資源化を推進」に関する評価

草木・剪定枝などは、適切な処理を行えば堆肥や固形燃料など、有用な資源として活用することができる。現状では効果的な資源化処理ができていないが、平成 27 年度から草木・剪定枝の資源化（堆肥化）を計画しているということで、最終処分量の削減、リサイクル率の向上だけでなく、市民への啓発効果についても期待したい。

3) 総合実績とその評価の詳細

総合実績と評価の詳細を示します。その中でも「評価」の項目については、下記の凡例により評価しています。

※定量的評価の凡例（数値であらわせるもの）

「○」：平成 26 年度実績値が進捗管理値を達成している。

「△」：平成 25 年度と比較して平成 26 年度実績値は改善しているが進捗管理値には達していない。

「×」：平成 25 年度と比較して、平成 26 年度実績値が悪化している。

※定性的評価の凡例（数値であらわせないもの）

「○」：取組みが十分されている

「△」：取組みはされているが不十分

「×」：取組みがされていない

(1) ごみ排出量を減らすための取組みについて

① 2R (リデュース：発生抑制・リユース：再使用) の推進

【発生抑制 (リデュース) の推進】

| 施 策 | 平 成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|-----|-----|-------|--|-------|--|-------|--|------|------|-------|--|-------|--|-------|--|--------|
| 市民一人ひとりのごみ減量化への行動を促す仕組みづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報ひこねで「ごみ減量・資源化トピックス」を連載した。 <p>○掲載回数</p> <table style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">H23</td> <td style="width: 5%;">⇒</td> <td style="width: 25%;">H24</td> <td style="width: 5%;">⇒</td> <td style="width: 25%;">H25</td> <td style="width: 5%;">⇒</td> <td style="width: 20%;">H26</td> </tr> <tr> <td>0 回</td> <td></td> <td>3 回</td> <td></td> <td>12 回</td> <td></td> <td>11 回</td> </tr> </table> | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 0 回 | | 3 回 | | 12 回 | | 11 回 | | | | | | | | | | |
| H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0 回 | | 3 回 | | 12 回 | | 11 回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 買い過ぎない・作り過ぎない・食べ残さない ライフスタイルの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ごみ減量・資源化トピックス」で食品ロスに関する記事を掲載した。 ・ イベントにおいて滋賀グリーン購入ネットワークと連携して啓発を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マイバッグ・マイボトル・マイ箸・マイカップ持参の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「買物ごみ減量推進フォーラムしが」に参画し、環境にやさしい買物キャンペーンにおいて、啓発活動を実施した。 ・ 「ごみ減量・資源化トピックス」でマイバックの推進について掲載した。 <p>○マイバッグ持参率 (レジ袋辞退率)</p> <table style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">H23</td> <td style="width: 5%;">⇒</td> <td style="width: 25%;">H24</td> <td style="width: 5%;">⇒</td> <td style="width: 25%;">H25</td> <td style="width: 5%;">⇒</td> <td style="width: 20%;">H26</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td>50.8%</td> <td></td> <td>90.1%</td> <td></td> <td>89.9%</td> </tr> </table> <p>※平成 24 年度については、レジ袋無料配布中止が開始された平成 25 年 3 月分のデータのみとなっている</p> | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | — | | 50.8% | | 90.1% | | 89.9% | | | | | | | | | | |
| H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| — | | 50.8% | | 90.1% | | 89.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民・市民団体・事業者の連携によるエコ包装の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施できていない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域への出前講座の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 要請があった自治会等に対し、分別方法などについて出前講座を実施した。 <p>○出前講座開催数および参加者数</p> <table style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 5%;">H25</td> <td style="width: 5%;">⇒</td> <td style="width: 25%;">H24</td> <td style="width: 5%;">⇒</td> <td style="width: 25%;">H25</td> <td style="width: 5%;">⇒</td> <td style="width: 20%;">H26</td> </tr> <tr> <td>開催数</td> <td>3 回</td> <td></td> <td>8 回</td> <td></td> <td>13 回</td> <td></td> <td>17 回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>100 人</td> <td></td> <td>643 人</td> <td></td> <td>960 人</td> <td></td> <td>1216 人</td> </tr> </table> | | H25 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 開催数 | 3 回 | | 8 回 | | 13 回 | | 17 回 | 参加者数 | 100 人 | | 643 人 | | 960 人 | | 1216 人 |
| | H25 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催数 | 3 回 | | 8 回 | | 13 回 | | 17 回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 100 人 | | 643 人 | | 960 人 | | 1216 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|---|----|---|
| <p>広報ひこねに「ごみ減量・資源化トピックス」を連載し、継続的な情報提供に努めている。記事の内容については、市民にわかりやすく、身近な内容となるように心がけていただきたい。</p> | △ | <p>今後も引き続き、広報ひこねにおいて「ごみ減量・資源化トピックス」の掲載を行っていく。</p> <p>市民に身近な問題や疑問（ごみの分別等）を中心に取上げ、記事への関心を持っていただけるような内容とする。</p> |
| <p>イベントや広報ひこねで、食品ロスによる「もったいない食生活」からの脱却について啓発を実施している。他団体と連携した啓発を実施しており、今後の連携にも期待する。</p> | △ | <p>広報だけでなく、ホームページやイベントを利用して、積極的な啓発を行っていく。</p> <p>滋賀グリーン購入ネットワークと連携した啓発活動を行う。</p> |
| <p>市内の一部店舗でレジ袋の無料配布が中止されており、マイバックの持参率も高い水準を維持していることから、取組みが市民の中に浸透してきているものと評価できる。</p> <p>マイボトル・マイ箸・マイカップ持参については啓発が具体的に実施されていないことから、今後の対応を検討いただきたい。</p> | △ | <p>マイバック持参によるレジ袋の削減については、一定の効果があるものと考えており、今後とも対応を継続していく。</p> <p>マイボトル・マイ箸・マイカップ持参については、イベントなどを活用し啓発を実施していく。</p> |
| <p>量販店ではお中元、お歳暮の簡易包装を進められているが、事業者と市の連携は進められていない。</p> <p>市は事業者だけでなく県や他の市町と連携し、積極的な活動を展開していただきたい。</p> | × | <p>レジ袋の有料化のように、彦根市単独で実施するのではなく広域的な活動が必要であると考えており、滋賀県へ対策の要望を行っていく。</p> |
| <p>出前講座の参加者は年をおって増えており、事業の周知がうまく行っているものと考えられ、講座の効果も現れているものと考えられます。平成 27 年度は子ども向けの出前講座を開催されるということで、幅広い世代への講座の開催による、ごみ問題の周知に期待する。</p> | ○ | <p>自治会だけでなく、小学校や児童クラブなど、子ども向けの出前講座を展開していく。</p> |

【発生抑制（リデュース）の推進】

| 施 策 | 平 成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 |
|------------------------|---|
| エコマーケットなどの リース情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・エコマーケット「夢畑」等の開催案内や、出店者募集に関する記事を広報ひこねで掲載した。 ○情報提供回数 H23 ⇒ H24 ⇒ H25 ⇒ H26 17回 19回 24回 22回 |
| リユース食器の普及推 進 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施できていない |
| リターナブル瓶の普及 推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国都市清掃会議を通じて、国に対し制度の拡充を求める要望書を提出した。 |

②事業系ごみの適正排出の推進

| 施 策 | 平 成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|-------|----|--|----|--|----|--|----|-------|----|--|----|--|----|--|----|
| 紙類の再生利用の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・彦根市事業系一般廃棄物減量等に関する指導要綱を制定した。 (平成 27 年 4 月 1 日告示) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 容器包装プラスチック の混入防止の啓発・指導 徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・彦根市事業系一般廃棄物減量等に関する指導要綱を制定した。 (平成 27 年 4 月 1 日告示) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業系食品リサイクル の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・彦根市事業系一般廃棄物減量等に関する指導要綱を制定した。 (平成 27 年 4 月 1 日告示) ○事業系食品リサイクル取組状況 <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>⇒</th> <th>H24</th> <th>⇒</th> <th>H25</th> <th>⇒</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定企業数</td> <td>2件</td> <td></td> <td>2件</td> <td></td> <td>3件</td> <td></td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>実施店舗数</td> <td>8件</td> <td></td> <td>8件</td> <td></td> <td>9件</td> <td></td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table> | | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 認定企業数 | 2件 | | 2件 | | 3件 | | 3件 | 実施店舗数 | 8件 | | 8件 | | 9件 | | 9件 |
| | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定企業数 | 2件 | | 2件 | | 3件 | | 3件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施店舗数 | 8件 | | 8件 | | 9件 | | 9件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|--|----|--|
| 「夢畑」が積極的にフリーマーケットを開催され、そのことを広報やホームページを用いて、情報提供していることは評価できる。今後は「夢畑」だけでなく、その他にも開催されているフリーマーケットなどの情報に関しても、広報等で提供していただきたい。 | △ | エコマーケット「夢畑」の開催だけでなく積極的にその他のフリーマーケットに関しても、情報提供を行い、参加者を増やしていく。 |
| リユース食器の普及推進に対する取組が出来ていないことから、削減につながっていない。 | × | 市内で行われるイベントで、リユース食器の活用を検討する。 |
| 国への要望は実施されているが、市域に対する具体的な施策が実施されていない。その為、取組みによる効果が出ているとは言えない。 | × | 既にリターナブル瓶として、活用されている物（ビール瓶など）があることを、情報提供し、販売店への返却を推進していく。 |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|--|----|---|
| 要綱の施行は平成 27 年度であることから、今後の削減効果を期待する。しかし指導要綱の対象事業者は大きな事業者が対象であることから、市内で大半を占めている、中小事業者への対策についても新たに検討いただきたい。 | △ | 策定された「彦根市事業系一般廃棄物減量等に関する指導要綱」に基づき、事業者に対して紙類の減量に向けた適切な指導を実施していく。滋賀県と合同で実施している「環境事故の未然防止を目的とした工場立入」において、紙類の再生利用の促進の啓発を行う。 |
| 要綱の施行は平成 27 年度であることから、今後の削減効果に期待する。指導要綱の対象事業者は大きな事業者が対象であることから、市内で大半を占めている、中小事業者への対策についても新たに検討いただきたい。 | △ | 策定された「彦根市事業系一般廃棄物減量等に関する指導要綱」に基づき、事業者に対して容器包装プラスチックの混入防止を指導していく。産業廃棄物行政の所管である滋賀県と合同で、事業者に向けた適切な容器包装プラスチック処理の啓発を行っていく。 |
| 再生利用事業計画の認定を受けている企業は、少ない状況であることから、再生利用事業計画の認定の取得を検討いただくよう、大規模事業者に対する啓発を継続いただきたい。 小規模事業者に関しては、食品残渣のリサイクルを取り扱っている業者の情報提供などを通じて、リサイクルを実施しやすい環境づくりに努めていただきたい。 | △ | 食品リサイクル法に基づく再生利用事業計画の認定を受けている企業は、まだ少ない状況である。大規模事業者に関しては再生利用事業計画の認定を検討いただくよう、啓発を行っていく。食品リサイクル法に基づく定期報告の対象とならない、小規模事業所に関しては、残渣処理の方法の一つとしてリサイクルを検討いただくよう、啓発に努める。 |

③事業者との連携

| 施 策 | 平 成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 |
|---------------------|---|
| スーパー等店舗での古紙・衣類回収の促進 | <p>平成 23 年度に、スーパー等店舗において古紙などの回収場所が設置され、古紙の店舗回収が開始された。このような事業の拡大を図っていくためにも、エコスポットの拡大を依頼した結果、店舗回収の拡大を図られるようになり、設置当初は年 243 トンであった回収量が、平成 26 年度においては、805 トンと順調に増加している。しかし、行政と事業者との連携には至っていない。</p> |
| デポジット制度やレジ袋有料化の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・「買物ごみ減量フォーラムしが」に参画し、県内におけるスーパー等でのレジ袋の有料化を検討した。 <p>○現在レジ袋の有料化については市内 10 事業者 16 店舗で実施されている。</p> |

④越境ごみ対策の強化

| 施 策 | 平 成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 |
|----------|--|
| 搬入時の確認強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 4 月 1 日より「彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例施行規則」の改正および「彦根市一般廃棄物収集運搬許可業者処分要領」を策定し、不適正搬入をする許可業者への規制を強化し、違反内容・処分について明確化した。 <p>○上記「処分要領」に基づき、平成 26 年 9 月より、許可業者に対する搬入物検査を実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">搬入物検査実施回数 13 回 違反件数 17 件 違反内容 分別区分違反 10 件 産業廃棄物の混入 7 件 越境ごみの混入 3 件</p> <p>※同時に 2 件の違反を犯していることもあるため、違反件数と違反内容は一致しない。</p> |
| 料金体系の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 4 月 1 日より「彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例」を改正し家庭から出る粗大ごみ処理手数料を改定した。 <p>○粗大ごみ搬入量</p> <p style="margin-left: 40px;">平成 25 年 2,538 トン ⇒ 平成 26 年度 1,395 トン 約 45%削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例」を改正し事業系一般廃棄物の処理手数料などの改定を行った。（平成 27 年 8 月 1 日施行） |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|---|----|--|
| <p>市民の利便性を考えると、店舗等での資源物の回収は、ごみの減量・資源化を進めていく上で重要な役割を果たしていくと考えられる。現状では市における取組みは行われていないが、店舗での独自の取組みにより、古紙の回収量が年々増加しており事業者の活動を高く評価します。市は事業者と協力し、店舗における資源物回収の利用促進を促す啓発について検討いただきたい。</p> | △ | <p>古紙や衣類だけでなく、その他の資源物を回収する事業者（店舗）について、ホームページなどを利用し情報提供することで、店舗における資源物回収の利用促進を行い、事業者との連携を図る。</p> |
| <p>レジ袋の有料化についてはマイバッグ持参率を見ても、一定の効果が出ていると評価できる。しかし、市内で有料化を実施しているのは、大手企業だけであり、市内の様々な企業が参加できるよう、引き続きの呼びかけを実施していただきたい。 デポジット制度の導入については、事業が実施されていない。このような多くの企業の協力が必要な事業は、市単独で実施していく事は難しいと考えられることから、県や他の市町と連携し事業を推進していただきたい。</p> | △ | <p>レジ袋の有料化については、マイバッグの持参率を見ても十分な効果が現れているものと判断できます。引き続き「買い物ごみ減量フォーラムしが」に参画し、レジ袋削減の啓発を行ってだけでなく新たにレジ袋の有料化を実施していただける事業者が増えるよう、呼びかけを実施していく。</p> |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|--|----|---|
| <p>「彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例施行規則」および「彦根市一般廃棄物収集運搬業者処分要領」に基づき、搬入物の検査を開始している。平成26年9月以降の事業系一般廃棄物の搬入量を見ると、月あたりの排出量は前年と比較し減少しており、搬入物検査の効果が現れているものと評価できる。今後も定期的な搬入物検査の実施に努め、事業者に対して彦根市の検査は厳しいという意識付けを行っていただきたい。 今回の検査は事業系一般廃棄物の許可業者に対する対策であるが、家庭系一般廃棄物の搬入に際しても、身分証の提示を義務付けるなど、越境ごみ対策を検討していただきたい。</p> | ○ | <p>搬入物検査については、月ごとの事業系一般廃棄物の搬入量（表9・図9）を見ても分かるとおり、一定の効果が出ていると判断できることから、定期的な検査を続けていく。 家庭系一般廃棄物については現状では対策ができていないことから、搬入時の身分証の提示など、越境ごみ対策の方法を計画している。</p> |
| <p>粗大ごみの搬入手数料の改定については、搬入量が約45%減少していることから大きな効果があったと評価できる。 その他の廃棄物処理手数料についても現状に見合った適切な設定を検討していただきたい。</p> | ○ | <p>事業系一般廃棄物の処理手数料に関して近隣市町と比較して、安価となっており越境ごみ搬入の原因となっていることが考えられることから、適切な価格への改定を進めている。</p> |

(2) 再生利用率を上げるための取組みについて

①新たな回収区分の拡大による再生利用の促進

| 施 策 | 平成 26 年 度 の 取 組 状 況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|---|---------|---|---------|---|---------|---|-----|-------|---------|--|---------|--|---------|--|---------|-----|---------|--|---------|--|---------|--|---------|
| 各種リサイクルの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ減量・資源化トピックス」でリサイクル奨励金と資源回収について掲載した。 ・「ごみ減量・資源化トピックス」で容器包装プラスチックの分別について掲載した。 ・古紙・衣類の集団回収に対する奨励金を交付した。 <p>○奨励金交付実績</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> <td>⇒</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>集団回収量</td> <td>3,051トン</td> <td></td> <td>2,852トン</td> <td></td> <td>2,753トン</td> <td></td> <td>2,594トン</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>6,103千円</td> <td></td> <td>5,705千円</td> <td></td> <td>5,506千円</td> <td></td> <td>5,188千円</td> </tr> </table> | | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 集団回収量 | 3,051トン | | 2,852トン | | 2,753トン | | 2,594トン | 交付額 | 6,103千円 | | 5,705千円 | | 5,506千円 | | 5,188千円 |
| | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 集団回収量 | 3,051トン | | 2,852トン | | 2,753トン | | 2,594トン | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交付額 | 6,103千円 | | 5,705千円 | | 5,506千円 | | 5,188千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新しい資源化技術の取り入れ検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・蛍光管の資源化を計画した(予算化) ・草木・剪定枝の資源化を計画した(予算化) ・焼却灰の資源化を計画した(予算化) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小型家電リサイクルの検討 | <p>平成 26 年 4 月 1 日より小型家電の分別回収を開始した。</p> <p>○小型家電資源化量</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> <td>⇒</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td>86トン</td> </tr> </table> | | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | — | | — | | — | | 86トン | | | | | | | | |
| | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | — | | — | | — | | 86トン | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 雑がみや硬質プラスチック等のRPF化の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・雑がみについては、広報ひこねにおいて、お菓子の紙箱やパンフレットなどが、ダンボールや雑誌と一緒に、資源として回収できることを情報提供するに留まっている。 ・剪定枝等の資源化を計画している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 最終処分量を減らすための取組みについて

①硬質プラスチックや陶器類の選別により、最終処分量を減らす

| 施 策 | 平成 26 年 度 の 取 組 状 況 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|--|-----|--|-----|
| 埋立ごみの選別の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年 10 月 1 日より蛍光管のリサイクルを開始するため協議を進めた。 ・最終処分量の削減に向け、平成 27 年度より焼却灰の資源化を進めるべく協議を進めた。 <p>○埋立ごみからの資源化量</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> <td>⇒</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0トン</td> <td></td> <td>0トン</td> <td></td> <td>0トン</td> <td></td> <td>0トン</td> </tr> </table> | | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | 0トン | | 0トン | | 0トン | | 0トン |
| | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | |
| | 0トン | | 0トン | | 0トン | | 0トン | | | | | | | | | | |

(4) 焼却量を減らすための取組みについて

①「雑がみ」、「衣類」の資源化の推進

| 施 策 | 平成 26 年 度 の 取 組 状 況 |
|--------------------------|--|
| 資源化する雑がみ・衣類の周知方法や排出方法の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ減量・資源化トピックス」で資源化する雑がみの出し方について掲載した。 |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|--|----|---|
| リサイクルに対する奨励金については20年以上の実績があり、継続した支援活動が実施されていることについて評価できる。今後は市単独でリサイクルを推進していくのではなく、市民団体や事業者と連携した、リサイクルの推進を実施していただきたい。 | △ | 引続き、古紙・衣類の資源化を推進して行くために、集団回収に対する奨励金の交付を継続していく。 広報や出前講座などを活用して、彦根市のごみの分別方法について情報の提供を行い、リサイクルの推進につなげる。 |
| まず実現可能な技術から精査し、実際に実行に移している点について評価できる。今後も新たな技術の取り入れに関し検討を行い、実現可能な技術について積極的に取り入れていただきたい。 | △ | 現在計画している各種資源化について実施に向けた準備を進めていく。 |
| 平成26年度より新たに小型家電のリサイクルが開始され、約90トンの小型家電がリサイクルされていることについて評価が出来る。積極的な回収を進めて行くためにも、広報やホームページを利用して回収方法の周知を行っていただきたい。 | ○ | 回収を進めて行くためにも、広報やホームページ等を利用して回収方法等、情報の周知に努める。 |
| 現在は、草木・剪定枝についてRPF化ではないが、堆肥化による資源化を計画しており、評価できる。資源化の方法はRPF化ではないので、RPF化にこだわらず、様々な資源化の方法に目を向けていただき、検討をして頂きたい。 | △ | RPF化にこだわらず、種々の資源化の方法を調査し、彦根市に最適な方法を検討する。 |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|---|----|--|
| 平成27年度から蛍光灯の分別回収と焼却灰の資源化を開始することは評価できる。取組みによる効果に期待したい。 減免ごみの対策についても、適切な搬入基準を作成することで、最終処分量が減少することに期待したい。 | △ | 埋立ごみからの資源ごみの選別については、平成27年度から蛍光灯の資源化と、焼却灰の資源化を始めるべく準備を進めている。 埋立ごみにおいて多くを占めている減免ごみ(火災ごみ等)についても適切な搬入基準の作成を進めている。 |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|---|----|--|
| 広報ひこねで古紙類の出し方について掲載し、雑がみの排出方法について記載しているが、衣類の資源回収についての情報を掲載できていない。様々な機会を利用して積極的な情報の提供に努めていただきたい。 | △ | 古紙だけでなく、雑がみや衣類の排出方法について、広報やホームページを利用し、積極的な情報の提供に努める。 |

②「生ごみ」の減量・資源化の推進

| 施 策 | 平成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--------|--------|--------|-----|-----|---------|-------|-------|-------|-------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| <p>生ごみ減量・資源化の取組方や事例の情報提供</p> | <p>・「ごみ減量・資源化トピックス」で簡易生ごみ処理普及事業の団体募集に加え、生ごみの堆肥化について掲載した。</p> <p>・「ごみ減量・資源化トピックス」で家庭用生ごみ処理機の使用状況を掲載した。</p> <p>○情報提供回数</p> <p style="text-align: center;">H23 ⇒ H24 ⇒ H25 ⇒ H26</p> <p style="text-align: center;">0回 0回 1回 2回</p> <p>・生ごみ処理器購入補助金制度の周知と補助金の交付を実施した。</p> <p>○補助金実績</p> <p style="text-align: center;">H23 ⇒ H24 ⇒ H25 ⇒ H26</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">補助件数</td> <td style="width: 20%;">28件</td> <td style="width: 20%;">24件</td> <td style="width: 20%;">19件</td> <td style="width: 20%;">29件</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>406千円</td> <td>357千円</td> <td>282千円</td> <td>395千円</td> </tr> <tr> <td>処理器保有件数</td> <td>288世帯</td> <td>312世帯</td> <td>331世帯</td> <td>360世帯</td> </tr> <tr> <td>生ごみ削減量</td> <td>42.0トン</td> <td>45.5トン</td> <td>48.3トン</td> <td>52.5トン</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">生ごみ削減量＝1人1日あたりの生ごみ排出量原単位 × 保有世帯数 × 平均世帯人口(2.5人) × 365日</p> <p style="text-align: center;">1人1日あたりの生ごみ排出量原単位 160g</p> <p>※保有数は補助金交付世帯に対するアンケート結果から</p> | 補助件数 | 28件 | 24件 | 19件 | 29件 | 交付額 | 406千円 | 357千円 | 282千円 | 395千円 | 処理器保有件数 | 288世帯 | 312世帯 | 331世帯 | 360世帯 | 生ごみ削減量 | 42.0トン | 45.5トン | 48.3トン | 52.5トン |
| 補助件数 | 28件 | 24件 | 19件 | 29件 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交付額 | 406千円 | 357千円 | 282千円 | 395千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 処理器保有件数 | 288世帯 | 312世帯 | 331世帯 | 360世帯 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生ごみ削減量 | 42.0トン | 45.5トン | 48.3トン | 52.5トン | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>簡易生ごみ処理の普及促進</p> | <p>・「ごみ減量・資源化トピックス」で簡易生ごみ処理普及事業の委託団体募集について掲載した。</p> <p style="text-align: center;">H23 ⇒ H24 ⇒ H25 ⇒ H26</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">委託件数</td> <td style="width: 20%;">3件</td> <td style="width: 20%;">3件</td> <td style="width: 20%;">2件</td> <td style="width: 20%;">4件</td> </tr> <tr> <td>処理器保有件数</td> <td>169世帯</td> <td>185世帯</td> <td>95世帯</td> <td>147世帯</td> </tr> <tr> <td>生ごみ削減量</td> <td>24.7トン</td> <td>27.0トン</td> <td>13.9トン</td> <td>21.5トン</td> </tr> </table> | 委託件数 | 3件 | 3件 | 2件 | 4件 | 処理器保有件数 | 169世帯 | 185世帯 | 95世帯 | 147世帯 | 生ごみ削減量 | 24.7トン | 27.0トン | 13.9トン | 21.5トン | | | | | |
| 委託件数 | 3件 | 3件 | 2件 | 4件 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 処理器保有件数 | 169世帯 | 185世帯 | 95世帯 | 147世帯 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生ごみ削減量 | 24.7トン | 27.0トン | 13.9トン | 21.5トン | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>市民や事業者と連携した堆肥の利用先確保</p> | <p>・簡易生ごみ処理普及事業を委託している団体と協働し、利用先の確保に取り組んだ。</p> <p>○利用先数</p> <p style="text-align: center;">H23 ⇒ H24 ⇒ H25 ⇒ H26</p> <p style="text-align: center;">0件 0件 1件 1件</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

③「草木・剪定枝・流木など」の資源化を推進

| 施 策 | 平成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 |
|------------------------------|---|
| <p>生ごみ減量・資源化の取組方や事例の情報提供</p> | <p>・「ごみ減量・資源化トピックス」で簡易生ごみ処理普及事業の団体募集に加え、生ごみの堆肥化について掲載した。</p> <p>・「ごみ減量・資源化トピックス」で家庭用生ごみ処理機の使用状況を掲載した。</p> <p>・草木・剪定枝をRPFとして資源化できる事業所を調査している。</p> <p>・平成27年4月1日から草木・剪定枝の資源化(堆肥化)が開始できるよう協議を進めている。</p> <p>○資源化搬出量</p> <p style="text-align: center;">H23 ⇒ H24 ⇒ H25 ⇒ H26</p> <p style="text-align: center;">4トン 18トン 5トン 4トン</p> |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|--|----|--|
| <p>簡易生ごみ処理普及事業の委託事業について広報を用いた募集を行っており、平成27年度の事業に向けて新たに3団体から応募があったことについて評価できる。生ごみ処理機の補助金に関しても広報を行っており、補助金が申請も増えていることについては評価できる。</p> <p>今後は、家庭でもできる簡単な生ごみの減量など(例えば水切りをしっかりとるなど)市民一人一人の活動を促すような、啓発を進めていただきたい。</p> | △ | <p>引続き、広報やホームページ、イベントなどで生ごみの減量・資源化に関する啓発活動を行っていく。</p> |
| <p>簡易生ごみ処理普及事業の委託団体においては引続き、市の開催するイベントや、独自のイベント等での啓発に努めていただきたい。市は委託団体と積極的に連携し、啓発や広報を行う場を提供いただきたい。</p> | △ | <p>簡易生ごみ処理の普及促進にあたって生活環境課で開催するイベントを活用して、簡易生ごみ処理普及事業の委託団体と共同でブースなどを設置し、啓発を実施する。</p> |
| <p>生ごみの堆肥化を進めていく上で、堆肥の利用先を確保しておくことは大変重要である。現在1ヶ所確保できているが、今後さらなる事業の拡大を目指していく上では、利用先の確保が重要となってくる。引続きの利用先の確保に向けて進めていただきたい。</p> | △ | <p>現在確保している1ヶ所の利用先を維持するとともに、今後の普及拡大を視野に入れて、新たな利用先の確保に向けて検討を進めていく。</p> |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|---|----|---|
| <p>現状では流木や臼など清掃センターで処理が困難な木材のみを資源として搬出しているため、効果としては期待できない。しかし平成27年度より草木・剪定枝の資源化を計画しているということで、今後の取組みの効果に期待したい。</p> | △ | <p>次年度より、草木・剪定枝の資源化を目的とした、市内業者への処理の委託を計画している。</p> |

地域行動計画編

1 趣旨

一般廃棄物処理基本計画(平成 25 年度から平成 34 年度)の着実な推進を図っていくためには、市民自らが、地球環境も視野に入れた持続的発展が可能な社会の実現を目指し、廃棄物の減量と資源化の行動を実践する必要があります。よって、市民・市民団体・事業者が実践した行動の進捗状況について評価を行い、行動計画の取組状況について報告するもの。

2 行動計画の取組状況について

1) 総合実績とその評価

ア 目標と実績

| | 基準(H23) | H25 実績 | H26 実績 | H26 進捗管理値 | 目標(H34) | 評価 |
|--------------------------------|---------|------------|--------------|------------|---------|----|
| 1人1日あたりのあたりの ごみ等排出量(g/人・日) | 1,086 | 1,112 | 1,050 | 1,029 | 899 | △ |
| 1人1日あたりのあたりの 生ごみ等排出量(g/人・日) | 424 | 401 | 391 | 396 | 320 | ○ |
| 古紙・衣類の資源化量(t) | 3,901 | 3,979 | 3,957 | 4,200 | 5,000 | × |
| 出前講座等の参加者数(人) | 600 | 1,845 | 1,919 | 1,320 | 3,000 | ○ |

目標と実績の評価凡例

「○」: 平成 26 年度実績値が進捗管理値を達成している。

「△」: 平成 25 年度と比較して平成 26 年度実績値は改善しているが進捗管理値には達していない。

「×」: 平成 25 年度と比較して、平成 26 年度実績値が悪化している。

イ 実績に対する評価

○1人1日あたりのごみ等の減量の状況 (資料編:表5・図5)

市民1人1日あたりのごみ等の排出量は、平成 25 年度や基準年と比較して減少はしているが、進捗管理値に対して、約 2.0%超過している。

○1人1日あたりの生ごみ等の減量の状況 (資料編:表6・図6)

市民1人1日あたりの生ごみの排出量については減少傾向にあり、進捗管理値を達成することができている。

○古紙・衣類の資源化の状況 (資料編:表7・図7)

古紙・衣類の資源化量については、進捗管理値に対して約 5.8%少なくなっている。

○出前講座等への参加の状況 (資料編:表8・図8)

出前講座やイベントへの参加状況については、参加者が増えたことにより目標値を約 45.4%上回っている。

2) 目標ごとの取組状況とその評価

取組み状況と評価の詳細を示します。その中でも「評価」の項目については、下記の凡例により評価しています。

※定量的評価の凡例（数値であらわせるもの）

「○」：平成 26 年度実績値が進捗管理値を達成している。

「△」：平成 25 年度と比較して平成 26 年度実績値は改善しているが進捗管理値には達していない。

「×」：平成 25 年度と比較して、平成 26 年度実績値が悪化している。

※定性的評価の凡例（数値であらわせないもの）

「○」：取組みが十分されている

「△」：取組みはされているが不十分

「×」：取組みがされていない

(1) 1人1日あたりのごみ等排出量を減らすための取組について

| 施 策 | 平 成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|-------|---|-------|---|-------|---|-----|----|--|-------|--|-------|--|-------|
| 買い物にはマイバッグを持参する | <ul style="list-style-type: none"> ・買い物には、マイバッグを持参し、レジ袋の削減に取り組んだ。(市民) ・レジ袋有料化を実施し、レジ袋の配布削減に取り組んだ。(事業者) ・広報や「買物ごみ減量フォーラムしが」の活動を通じて、マイバッグ持参の啓発をした。(市) <p>○マイバッグ持参率</p> <table> <tr> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> <td>⇒</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td>50.8%</td> <td></td> <td>90.1%</td> <td></td> <td>89.9%</td> </tr> </table> <p>※平成24年度については、レジ袋無料配布中止が開始された3月分のデータのみとなっている。</p> | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | — | | 50.8% | | 90.1% | | 89.9% |
| H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | |
| — | | 50.8% | | 90.1% | | 89.9% | | | | | | | | | |
| エコマーケット(フリーマーケット)を開催する | <ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントと連携しながら、エコマーケットを開催した。(市民団体) ・エコマーケットに参加し「物」の再使用に取り組んだ。(市民) ・エコマーケットの開催および出店者の募集案内、新たな団体によるフリーマーケット等の開催に関する支援を行った。(市) <p>○エコマーケット開催数</p> <table> <tr> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> <td>⇒</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>8回</td> <td></td> <td>8回</td> <td></td> <td>7回</td> <td></td> <td>7回</td> </tr> </table> | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 8回 | | 8回 | | 7回 | | 7回 |
| H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | |
| 8回 | | 8回 | | 7回 | | 7回 | | | | | | | | | |

(2) 1人1日あたりの生ごみ排出量を減らすための取組について

| 施 策 | 平 成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|---|--------|---|--------|---|--------|---|-----|------|-----|--|-----|--|-----|--|-----|-----|-------|--|-------|--|-------|--|-------|---------|-------|--|-------|--|-------|--|-------|--------|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|-----|---|-----|---|-----|---|-----|------|----|--|----|--|----|--|----|---------|-------|--|-------|--|------|--|-------|--------|--------|--|--------|--|--------|--|--------|
| 生ごみ減量・資源化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機購入補助金制度の周知と補助金の交付を行った。(市) <p>購入費用の1/3(上限15,000円)</p> <p>○補助実績</p> <table> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> <td>⇒</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>補助件数</td> <td>28件</td> <td></td> <td>24件</td> <td></td> <td>19件</td> <td></td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>406千円</td> <td></td> <td>357千円</td> <td></td> <td>282千円</td> <td></td> <td>395千円</td> </tr> <tr> <td>処理器保有件数</td> <td>288世帯</td> <td></td> <td>312世帯</td> <td></td> <td>331世帯</td> <td></td> <td>360世帯</td> </tr> <tr> <td>生ごみ削減量</td> <td>42.0トン</td> <td></td> <td>45.5トン</td> <td></td> <td>48.3トン</td> <td></td> <td>52.5トン</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機を使用、水切りなどで生ごみの減量に取り組んだ。(市民) ・簡易生ごみ処理普及事業の委託と新規団体の募集を行い、簡易生ごみ処理の普及促進を図った。(市) ・簡易生ごみ処理普及事業を実施し、簡易生ごみ処理による生ごみの削減と、簡易生ごみ処理の普及促進活動を行った。(市民団体・市民) <table> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>⇒</td> <td>H24</td> <td>⇒</td> <td>H25</td> <td>⇒</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>委託件数</td> <td>3件</td> <td></td> <td>3件</td> <td></td> <td>2件</td> <td></td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>処理器保有件数</td> <td>169世帯</td> <td></td> <td>185世帯</td> <td></td> <td>95世帯</td> <td></td> <td>147世帯</td> </tr> <tr> <td>生ごみ削減量</td> <td>24.7トン</td> <td></td> <td>27.0トン</td> <td></td> <td>13.9トン</td> <td></td> <td>21.5トン</td> </tr> </table> <p>生ごみ削減量 = 1人1日あたりの生ごみ排出量原単位 × 会員世帯数 × 平均世帯人口(2.5人) × 365日</p> <p>1人1日あたりの生ごみ排出量原単位 160g</p> | | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 補助件数 | 28件 | | 24件 | | 19件 | | 29件 | 交付額 | 406千円 | | 357千円 | | 282千円 | | 395千円 | 処理器保有件数 | 288世帯 | | 312世帯 | | 331世帯 | | 360世帯 | 生ごみ削減量 | 42.0トン | | 45.5トン | | 48.3トン | | 52.5トン | | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 委託件数 | 3件 | | 3件 | | 2件 | | 4件 | 処理器保有件数 | 169世帯 | | 185世帯 | | 95世帯 | | 147世帯 | 生ごみ削減量 | 24.7トン | | 27.0トン | | 13.9トン | | 21.5トン |
| | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補助件数 | 28件 | | 24件 | | 19件 | | 29件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交付額 | 406千円 | | 357千円 | | 282千円 | | 395千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 処理器保有件数 | 288世帯 | | 312世帯 | | 331世帯 | | 360世帯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生ごみ削減量 | 42.0トン | | 45.5トン | | 48.3トン | | 52.5トン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委託件数 | 3件 | | 3件 | | 2件 | | 4件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 処理器保有件数 | 169世帯 | | 185世帯 | | 95世帯 | | 147世帯 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生ごみ削減量 | 24.7トン | | 27.0トン | | 13.9トン | | 21.5トン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|---|----|--|
| <p>市内16店舗の協力により、レジ袋の無料配布を中止いただいたことで、マイバッグ持参率が向上し、その結果レジ袋がごみとして出される量が減っていることになると理解する。</p> <p>また、マイバッグの持参が習慣となり、レジ袋の無料配布を実施している店舗へもマイバッグを持参することで、さらなるレジ袋の削減に期待する。</p> | ○ | <p>マイバックの持参はごみの減量および資源の有効活用に大きく寄与していると考えており、引続き市民・事業者・行政の3者が協力しながら「マイバックの持参」「レジ袋の削減」に取り組んで行く。</p> |
| <p>エコマーケット「夢畑」など多くのフリーマーケットが市民自らの手で開催されていることについて、高く評価する。今後とも継続的な開催を頂きたい。</p> <p>また市もフリーマーケットの開催に関して、広報活動や実施場所の提供など引続き協力をお願いしたい。</p> | △ | <p>エコマーケット「夢畑」に関しては、市民団体の皆さまの活躍により、定期的を開催することができている。引続き定期的に開催ができるように努めて行く。また市内ではエコマーケット「夢畑」以外にも多くのフリーマーケットが開催されている。このような市内で開催されるフリーマーケットについてはできるかぎり情報を集め、市民への情報提供に努めていく。</p> |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|--|----|---|
| <p>「生ごみ処理機に対する補助金」「簡易生ごみ処理普及事業」について継続的に取り組んでおり、効果を挙げていることについて評価できる。このような事業を市民の皆さんに有効に活用していただくためにも、積極的な広報活動を実施していただきたい。</p> <p>市民の皆さんも、市の実施する事業を有効に活用いただき、生ごみの減量に取り組んでいただきたい。</p> | ○ | <p>ごみの減量を進めて行くうえで、生ごみの排出量の削減は大変重要な課題であると認識しており、引続き「生ごみ処理機に対する補助金」「簡易生ごみ処理普及事業」を継続していく。また生ごみの水切りなど簡単にできる減量方法の啓発に努めて行く。</p> |

(3)古紙・衣類の資源化量を増やすための取組について

| 施 策 | 平 成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|---|---------|---|---------|---|---------|---|-----|-------|---------|--|---------|--|---------|--|---------|-------|-------|--|-------|--|-------|--|-------|-------|-------|--|-------|--|-------|--|-------|
| 古紙・衣類の資源化推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会やPTAなどが実施する、古紙・衣類の集団回収に対して奨励金を交付した。(市) <ul style="list-style-type: none"> ○新聞紙、雑誌、ダンボール(雑紙を含む)、紙パック、衣類の回収に対して2円/kg ・集団回収が実施されていない地域を中心に、行政回収を実施した。(市) ・清掃センターに古紙・衣類の回収ボックスを設置し資源の回収方法の拡大を図った。(市) ・店舗に回収拠点を設置し、古紙の回収を実施した。(事業者) <ul style="list-style-type: none"> ○2事業者5店舗(平成26年3月末時点) ・様々な機会を利用して、古紙・衣類の資源化に取り組んだ。(市民) <ul style="list-style-type: none"> ○古紙・衣類回収量 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>⇒</th> <th>H24</th> <th>⇒</th> <th>H25</th> <th>⇒</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団回収量</td> <td>3,051トン</td> <td></td> <td>2,852トン</td> <td></td> <td>2,753トン</td> <td></td> <td>2,594トン</td> </tr> <tr> <td>行政回収量</td> <td>607トン</td> <td></td> <td>587トン</td> <td></td> <td>600トン</td> <td></td> <td>558トン</td> </tr> <tr> <td>店舗回収量</td> <td>243トン</td> <td></td> <td>563トン</td> <td></td> <td>626トン</td> <td></td> <td>805トン</td> </tr> </tbody> </table> | | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 集団回収量 | 3,051トン | | 2,852トン | | 2,753トン | | 2,594トン | 行政回収量 | 607トン | | 587トン | | 600トン | | 558トン | 店舗回収量 | 243トン | | 563トン | | 626トン | | 805トン |
| | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 集団回収量 | 3,051トン | | 2,852トン | | 2,753トン | | 2,594トン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行政回収量 | 607トン | | 587トン | | 600トン | | 558トン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 店舗回収量 | 243トン | | 563トン | | 626トン | | 805トン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(4)出前講座やイベントへの参加者数を増やすための取組について

| 施 策 | 平 成 2 6 年 度 の 取 組 状 況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---|------|---|------|---|--------|---|-----|------------|----|--|----|--|-----|--|-----|-------------|------|--|------|--|------|--|--------|--|-----|---|-----|---|-----|---|-----|------------|----|--|----|--|----|--|----|-------------|------|--|------|--|------|--|------|
| 出前講座やイベントに参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・要請があった自治会等に対し、分別方法などについて出前講座を実施した。(市) ・出前講座へ参加し、彦根市分別方法を改めて学び、資源化へ取り組んだ。(市民) <ul style="list-style-type: none"> 出前講座開催数および参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>⇒</th> <th>H24</th> <th>⇒</th> <th>H25</th> <th>⇒</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>3回</td> <td></td> <td>8回</td> <td></td> <td>13回</td> <td></td> <td>17回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>100人</td> <td></td> <td>643人</td> <td></td> <td>960人</td> <td></td> <td>1,219人</td> </tr> </tbody> </table> ・県立大学の学園祭「湖風祭」において開催された環境イベント「ひこねエコフェスタ」において、ごみ減量・資源化に関する啓発ブースを設置した。(市) ・イベントにおいて啓発ブースを出展し運営協力を行った。(市民団体・学生・事業者) ・啓発イベントに参加し、ごみ問題に関する見識を深めた。(市民) <ul style="list-style-type: none"> 啓発イベント開催数および参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>⇒</th> <th>H24</th> <th>⇒</th> <th>H25</th> <th>⇒</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>1回</td> <td></td> <td>1回</td> <td></td> <td>2回</td> <td></td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>500人</td> <td></td> <td>300人</td> <td></td> <td>885人</td> <td></td> <td>700人</td> </tr> </tbody> </table> | | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 開催数 | 3回 | | 8回 | | 13回 | | 17回 | 参加者数 | 100人 | | 643人 | | 960人 | | 1,219人 | | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | 開催数 | 1回 | | 1回 | | 2回 | | 1回 | 参加者数 | 500人 | | 300人 | | 885人 | | 700人 |
| | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催数 | 3回 | | 8回 | | 13回 | | 17回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 100人 | | 643人 | | 960人 | | 1,219人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H23 | ⇒ | H24 | ⇒ | H25 | ⇒ | H26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開催数 | 1回 | | 1回 | | 2回 | | 1回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 500人 | | 300人 | | 885人 | | 700人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|--|----|---|
| <p>店舗での古紙の回収量が年々増加していることから、事業者と協力し、店舗における資源物回収の利用促進を積極的に啓発していく必要がある。</p> <p>集団回収については回収量が減少傾向にあるものの、古紙・衣類回収の重要な手段の一つとなっている。市に関しては集団回収に対する「奨励金」を継続していただき、市民の皆さんに関しては、集団回収を積極的に活用いただきたい。</p> <p>古紙の回収は「集団」「行政」「店舗」と様々な方法があり、自身にあった排出方法を選択していただき、古紙・衣類の資源化推進に努めていただきたい。</p> | △ | <p>今後は、店舗回収が古紙・衣類等の回収においては重要な役割を占めて来ると考えており、事業者と連携して回収場所等の周知を進めていく。</p> <p>集団回収については引き続き「奨励金」を継続し、集団回収を実施していただける団体が増えるよう、広報活動を実施する。</p> |

| 取組みに対する審議会の評価 | 評価 | 今後の取組み |
|--|----|---|
| <p>出前講座の実施回数、参加者については年々増加しており、市民の皆さんの関心を持っていただけているものと評価します。今後は自治会だけでなく、学校や事業者への出前講座の実施も検討いただきたい。</p> <p>県立大学の学園祭という集客力のある大きなイベントにおいて、啓発を実施したことは大変評価できる。今後はより多くの啓発イベントが開催を期待する。</p> | ○ | <p>出前講座については、引続き自治会を中心に実施していくが、学校や事業者向けの出前講座も検討していく。</p> <p>啓発イベントに関しては、次年度も引続き県立大学の学園祭の中で啓発が実施できるよう、大学と協議を進めていく。</p> |

総合評価

彦根市では、ごみ減量・資源化を実施すべく様々な施策を展開されています。多くの事業を計画し、実施されていることは評価できますが、一つ一つの事業が十分な効果を挙げていない様に見受けられます。平成27年度からは、新たに「ごみ減量・資源化」に取り組む専門の所属が設けられ、専従の職員も設置されるようですが、人員は限られています。市民が行うことが効率的なことや、古紙等の店舗回収のように事業者が行うことでより一層リサイクルが進む事業など、それぞれの主体の役割分担を行うことにより、効果的に事業を進めることができるのではないかと考えます。一般廃棄物処理基本計画の事業についても、効果が十分に得られていない事業や、取組が不十分な事業を重点的に取り組むことにより、更なる減量・資源化事業を進めることができると考えます。

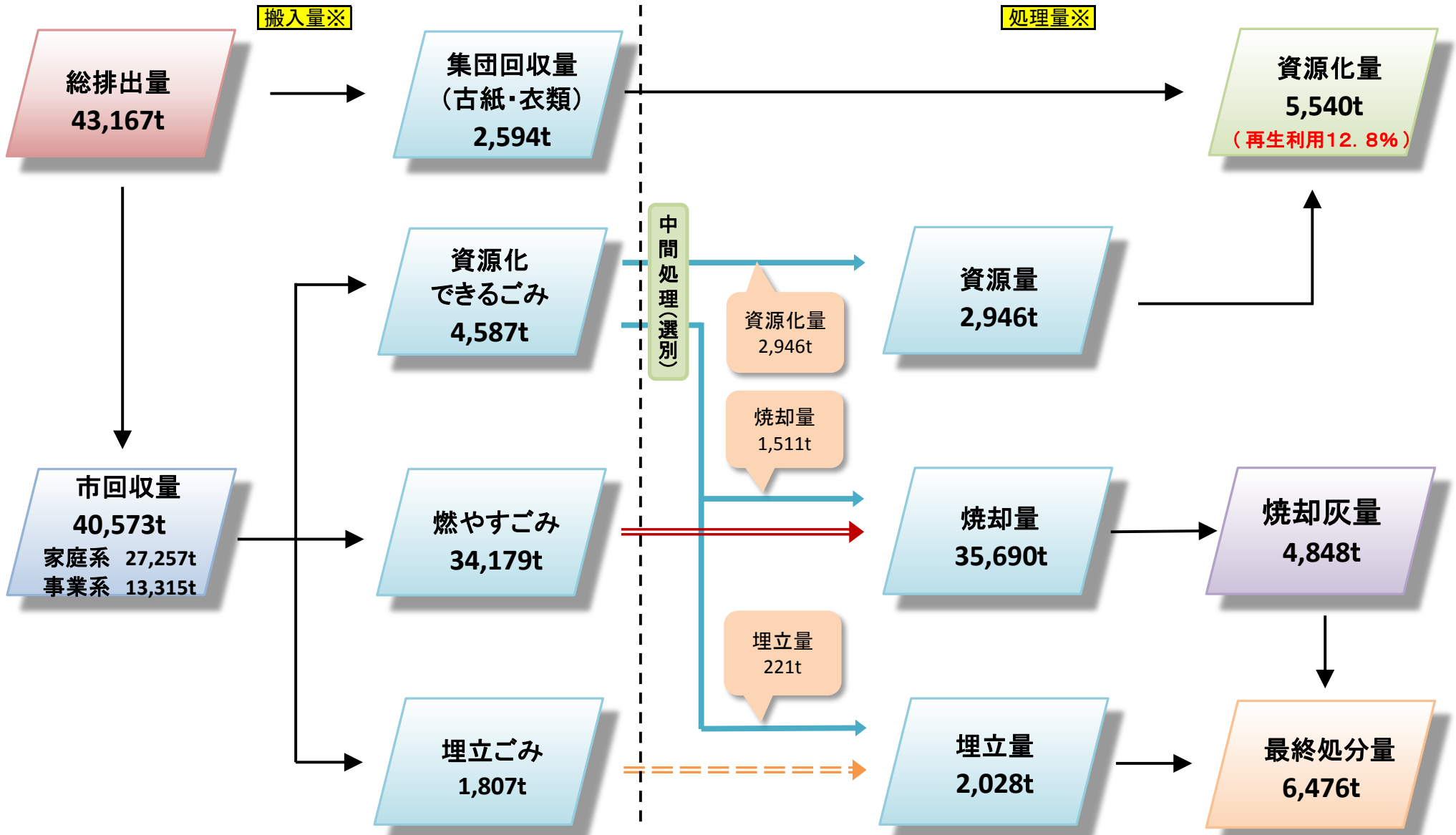
また、彦根市は、一般廃棄物処理基本計画に基づき、毎年の進捗状況の評価を実施されています。この点について他の市町で多くは実施されておらず、評価されるべきことであると考えておりますが、計画に基づき進捗状況を評価するあまり、一般廃棄物処理基本計画にとらわれすぎていないか疑問に感じます。ごみの減量・資源化の手法は1つではなく数多く存在しています。計画を尊重しつつも、日々進歩する新しい技術にも目を向け、より良い方法を模索することが重要と考えます。

彦根市の現状においては、計画の進捗管理値に到達している項目はまだ少ないですが、一歩ずつ前に進んでいると実感しています。計画を着実に遂行していくには、市民・事業者・行政が一体となり、協働して進んで行く事業に取り組まれることを期待しております。

平成27年〇月〇日

彦根市廃棄物減量等推進審議会
会長 金谷 健

平成26年度 廃棄物処理量フロー図



※前年度から持ち越されるごみの処理があるため、搬入量と処理量は同値とはなりません。

| ごみ総排出量 | |
|--------|----------|
| H25年度 | 45,757 t |
| H26年度 | 43,167 t |
| 増減量 | -2,590 t |
| 割合 | -5.7 % |

| 一人1日あたりのごみ排出量 | |
|---------------|-------------|
| H25年度 | 1,112 g/人・日 |
| H26年度 | 1,050 g/人・日 |

ごみの内訳

| 燃やすごみ | 埋立ごみ | 粗大ごみ | 容器包装プラスチック | ペットボトル | 缶・金属類 | ビン類 | 古紙・衣類※2 | 廃食油 | 乾電池 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|---------------|------------|------------|
| H25年度 34,540 t | H25年度 2,458 t | H25年度 2,537 t | H25年度 1,358 t | H25年度 258 t | H25年度 278 t | H25年度 915 t | H25年度 3,353 t | H25年度 31 t | H25年度 29 t |
| H26年度 34,179 t | H26年度 1,807 t | H26年度 1,396 t | H26年度 1,243 t | H26年度 194 t | H26年度 259 t | H26年度 880 t | H26年度 3,152 t | H26年度 29 t | H26年度 28 t |
| 増減量 -361 t | 増減量 -651 t | 増減量 -1,141 t | 増減量 -115 t | 増減量 -64 t | 増減量 -19 t | 増減量 -35 t | 増減量 -201 t | 増減量 -2 t | 増減量 -1 t |
| 割合 -1.0 % | 割合 -26.5 % | 割合 -45.0 % | 割合 -8.5 % | 割合 -24.8 % | 割合 -6.8 % | 割合 -3.8 % | 割合 -6.0 % | 割合 -6.5 % | 割合 -3.4 % |

中間処理(破碎・分別)※1

| 粗大ごみ | 容器包装プラスチック | ペットボトル | 缶・金属類 | ビン類 |
|---------------|-------------|-----------|------------|------------|
| 資源 172 t | 資源 724 t | 資源 243 t | 資源 241 t | 資源 865 t |
| 小型家電 86 t | 燃やすごみ 349 t | 埋立てごみ 1 t | 埋立てごみ 18 t | 埋立てごみ 15 t |
| 燃やすごみ 1,162 t | 埋立てごみ 169 t | | | |
| 埋立てごみ 18 t | | | | |

焼却量

| 燃やすごみ | |
|-------|----------|
| H25年度 | 36,957 t |
| H26年度 | 35,690 t |
| 増減量 | -1,267 t |
| 割合 | -3.4 % |

埋立量 (中山投棄場)

| 埋立てごみ | |
|-------|---------|
| H25年度 | 2,832 t |
| H26年度 | 2,028 t |
| 増減量 | -804 t |
| 割合 | -28.4 % |

資源化(民間への処理委託または売却)

| 粗大ごみ | 小型家電 | 容器包装プラスチック | ペットボトル | 缶・金属類 |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| H25年度 354 t | H25年度 — t | H25年度 777 t | H25年度 263 t | H25年度 230 t |
| H26年度 172 t | H26年度 86 t | H26年度 724 t | H26年度 243 t | H26年度 241 t |
| 増減量 -182 t | 増減量 — t | 増減量 -53 t | 増減量 -20 t | 増減量 11 t |
| 割合 -51.4 % | 割合 — % | 割合 -6.8 % | 割合 -7.6 % | 割合 4.8 % |

| ビン類 | 古紙・衣類※2 | 廃食油 | 乾電池 |
|-------------|---------------|------------|------------|
| H25年度 889 t | H25年度 3,353 t | H25年度 31 t | H25年度 29 t |
| H26年度 865 t | H26年度 3,152 t | H26年度 29 t | H26年度 28 t |
| 増減量 -24 t | 増減量 -201 t | 増減量 -2 t | 増減量 -1 t |
| 割合 -2.7 % | 割合 -6.0 % | 割合 -6.5 % | 割合 -3.4 % |

| 資源化量 | |
|---------|---------|
| H25年度 | 5,926 t |
| H26年度 | 5,540 t |
| 増減量 | -386 t |
| H25資源化率 | 13.0 % |
| H26資源化率 | 12.8 % |

※1 清掃センターで処理された量です。
前年度分の繰越しの関係で排出量と同値にならない物もあります。
※2 古紙・衣類については行政回収量と集団回収量の合計です。

資料編

○資料編解説

※下記の表は、平成26年度実績値と、進捗管理値を比較し、進捗管理値の達成状況を評価の対象としています。

廃棄物の種類によっては、排出抑制が必要な場合や、施策によって増えることが望ましい場合があります。各表における「①実績値-②進捗管理値」の値が排出抑制を必要とする項目については「マイナス」に、増えることが望ましい項目については「プラス」になった場合に進捗管理値の達成となります。

表1-1 ごみ等排出量の実績および進捗管理値

| | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗評価 | |
|--------------------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---|
| | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 目標値 | | | | | | | | | |
| 人口 | 112,400 | 112,632 | 112,691 | 112,622 | -308 | 112,930 | 112,161 | 112,571 | 113,356 | 113,604 | 112,611 | 111,193 | 111,653 | 112,792 | |
| 燃やすごみ | 33,294 | 33,707 | 34,540 | 34,179 | 2,656 | 31,523 | 30,933 | 30,342 | 29,752 | 29,162 | 28,571 | 27,981 | 27,391 | 26,800 | × |
| 容器包装プラスチック | 1,577 | 1,439 | 1,358 | 1,243 | -368 | 1,611 | 1,622 | 1,633 | 1,644 | 1,655 | 1,666 | 1,678 | 1,689 | 1,700 | × |
| 埋立ごみ | 2,318 | 1,852 | 2,458 | 1,807 | -293 | 2,100 | 2,028 | 1,955 | 1,883 | 1,810 | 1,738 | 1,665 | 1,593 | 1,520 | ○ |
| 小型家電 | 0 | 0 | 0 | 86 | 76 | 10 | 10 | 10 | 35 | 60 | 85 | 110 | 135 | 160 | ○ |
| 缶・金属類 | 283 | 278 | 278 | 259 | -2 | 261 | 253 | 246 | 238 | 231 | 223 | 216 | 208 | 200 | ○ |
| びん類 | 957 | 936 | 915 | 880 | 26 | 854 | 820 | 786 | 751 | 717 | 683 | 648 | 614 | 580 | × |
| 粗大ごみ | 2,073 | 2,118 | 2,537 | 1,396 | -589 | 1,985 | 1,955 | 1,926 | 1,897 | 1,867 | 1,838 | 1,808 | 1,779 | 1,750 | ○ |
| ペットボトル | 324 | 267 | 258 | 194 | -164 | 358 | 370 | 381 | 393 | 404 | 416 | 427 | 439 | 450 | × |
| 使用済み乾電池 | 27 | 27 | 29 | 28 | -3 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 38 | 39 | 40 | × |
| 廃食用油 | 26 | 25 | 31 | 29 | -4 | 33 | 35 | 37 | 39 | 41 | 43 | 46 | 48 | 50 | × |
| 古紙・衣類(行政回収) | 607 | 587 | 600 | 558 | -124 | 682 | 721 | 762 | 801 | 841 | 880 | 921 | 960 | 1,000 | × |
| 古紙・衣類(集団回収) | 3,051 | 2,853 | 2,753 | 2,594 | -375 | 2,969 | 2,942 | 2,914 | 2,887 | 2,859 | 2,832 | 2,805 | 2,777 | 2,750 | × |
| 総排出量 | 44,537 | 44,089 | 45,757 | 43,167 | 750 | 42,417 | 41,721 | 41,025 | 40,354 | 39,682 | 39,011 | 38,343 | 37,672 | 37,000 | × |
| 1人1日あたりの排出量(g/人・日) | 1,086 | 1,072 | 1,112 | 1,050 | 21 | 1,029 | 1,019 | 998 | 975 | 957 | 949 | 945 | 924 | 899 | × |

※表1-1は、廃棄物の総排出量とその内訳を表記したものです。進捗管理値を達成した項目については評価を「○」とし、背景色をグレー示しています。(以下同様)

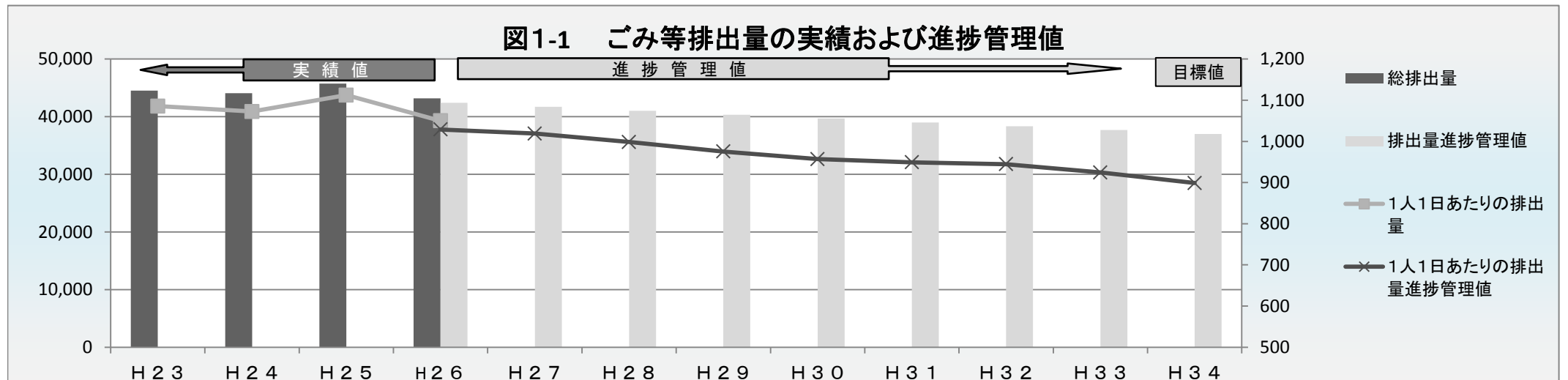


表1-2 発生抑制と減少傾向にある廃棄物の実績および進捗管理値

| ☆排出抑制が必要な項目 | | | | | | | | | | | | | | (単位:t) | |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---|
| | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗評価 | |
| | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | | |
| 燃やすごみ | 33,294 | 33,707 | 34,540 | 34,179 | 2,656 | 31,523 | 30,933 | 30,342 | 29,752 | 29,162 | 28,571 | 27,981 | 27,391 | 26,800 | × |
| 埋立ごみ | 2,318 | 1,852 | 2,458 | 1,807 | -293 | 2,100 | 2,028 | 1,955 | 1,883 | 1,810 | 1,738 | 1,665 | 1,593 | 1,520 | ○ |
| 粗大ごみ | 2,073 | 2,118 | 2,537 | 1,396 | -589 | 1,985 | 1,955 | 1,926 | 1,897 | 1,867 | 1,838 | 1,808 | 1,779 | 1,750 | ○ |
| 缶・金属類 | 283 | 278 | 278 | 259 | -2 | 261 | 253 | 246 | 238 | 231 | 223 | 216 | 208 | 200 | ○ |
| びん類 | 957 | 936 | 915 | 880 | 26 | 854 | 820 | 786 | 751 | 717 | 683 | 648 | 614 | 580 | × |

※表1-2は、発生抑制が必要な廃棄物や、今後ペットボトル等の需用の拡大により、減少していくことが予想される、缶やビンについて記載しています。

粗大ごみや、埋立ごみについては、搬入料金の改定や啓発の効果もあり減少していると考えています。

図1-2 発生抑制と減少傾向にある廃棄物の実績と進捗管理値

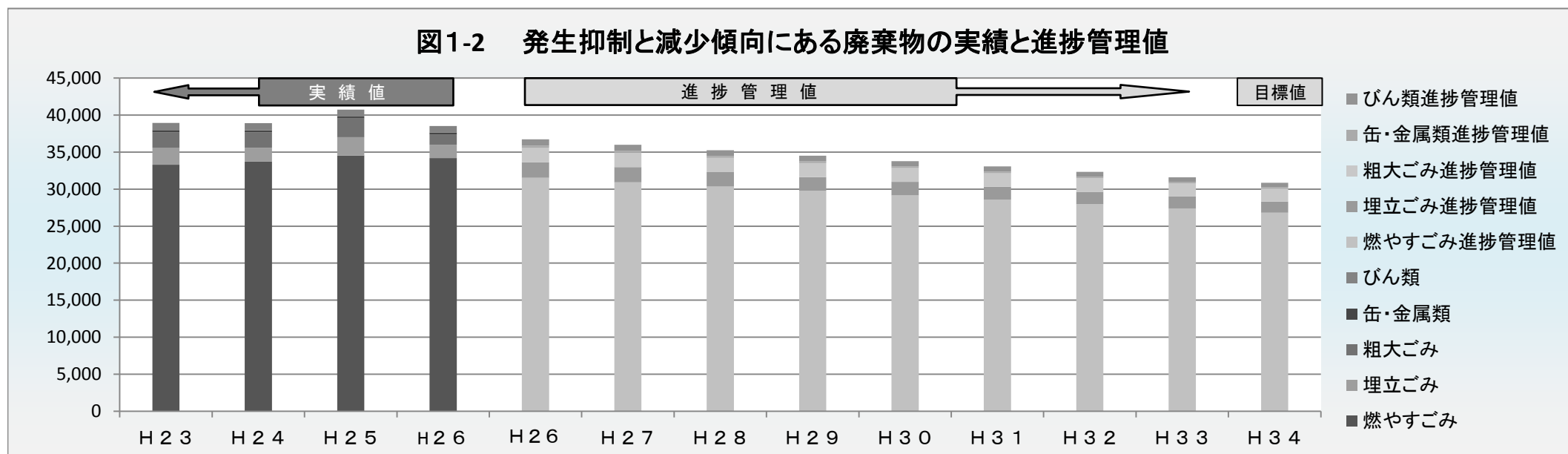


表1-3 増えることが望ましい廃棄物実績および進捗管理値

☆増えることが望ましい項目

(単位:t)

| | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗 評価 | | |
|------------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-----|--|
| | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | | 目標値 | |
| 容器包装プラスチック | 1,577 | 1,439 | 1,358 | 1,243 | -368 | 1,611 | 1,622 | 1,633 | 1,644 | 1,655 | 1,666 | 1,678 | 1,689 | 1,700 | × | |
| 小型家電 | 0 | 0 | 0 | 86 | 76 | 10 | 10 | 10 | 35 | 60 | 85 | 110 | 135 | 160 | ○ | |
| ペットボトル | 324 | 267 | 258 | 194 | -164 | 358 | 370 | 381 | 393 | 404 | 416 | 427 | 439 | 450 | × | |
| 使用済み乾電池 | 27 | 27 | 29 | 28 | -3 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 38 | 39 | 40 | × | |
| 廃食用油 | 26 | 25 | 31 | 29 | -4 | 33 | 35 | 37 | 39 | 41 | 43 | 46 | 48 | 50 | × | |

※表1-3は、廃棄物の排出を促しているわけではありません。未だに「燃やすごみ」や「埋立ごみ」の中にたくさんの資源が混入されており、それら正しく分別されれば、これらの項目も増加することと考えており目標を設定しております。分別が正しく行われることで、リサイクルが更に進み彦根市の資源化率が向上していくと考えています。

図1-3 増えることが望ましい廃棄物実績値および進捗管理値

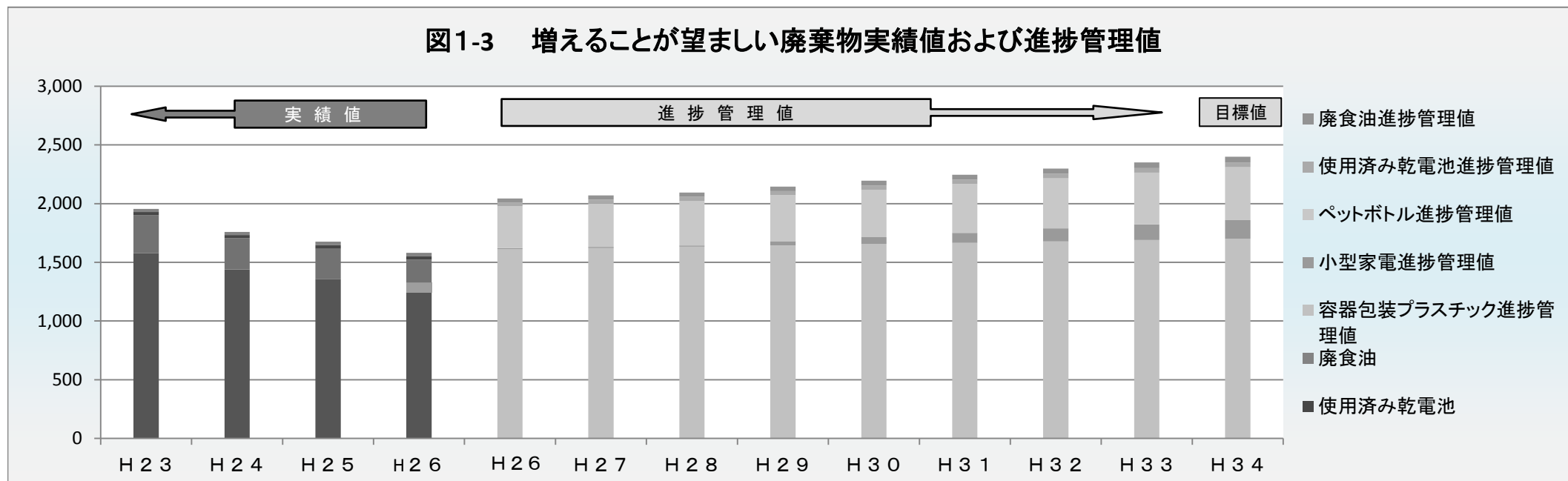


表2 再生利用率の実績および進捗管理値

☆増えることが望ましい項目

(単位:t)

| | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗 評価 | |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|---|
| | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | 目標値 | |
| 資源化量 | 6,321 | 6,049 | 5,926 | 5,540 | -1,574 | 7,114 | 7,149 | 7,186 | 7,220 | 7,256 | 7,291 | 7,330 | 7,364 | 7,400 | × |
| 総排出量 | 44,537 | 44,089 | 45,757 | 43,167 | 750 | 42,417 | 41,721 | 41,025 | 40,354 | 39,682 | 39,011 | 38,343 | 37,672 | 37,000 | × |
| 再生利用率 | 14.2% | 13.7% | 13.0% | 12.8% | -4.0% | 16.8% | 17.1% | 17.5% | 17.9% | 18.3% | 18.7% | 19.1% | 19.5% | 20.0% | × |

※彦根市では、各種リサイクルの推進を行っています。平成26年度より小型家電の資源化を開始し、資源化品目が12種類となりました。そして、H27年度には、新たに焼却灰、剪定枝、蛍光灯の資源化に取組みを行い、資源化品目は15種類となっています。(資源化品目: 廃食用油、乾電池、古紙・衣類、缶・金属類、びん、ペットボトル、容器包装プラ、ペットキャップ、粗大金属、小型家電、木くず、廃電線、焼却灰、剪定枝、蛍光灯)

図2 再生利用率の実績および進捗管理値

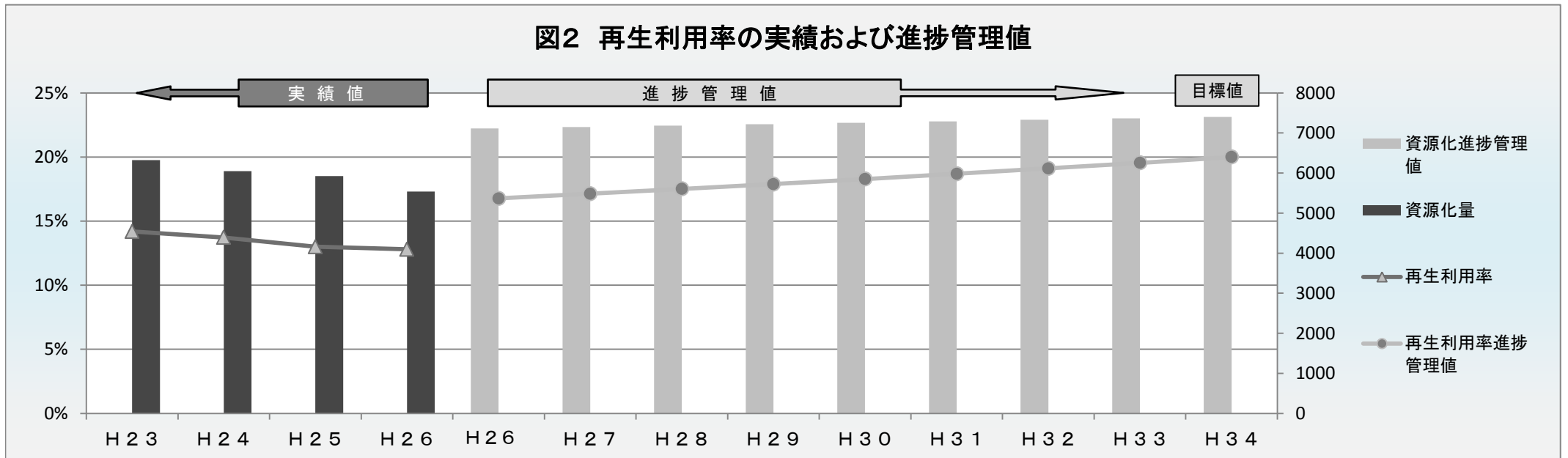


表3 最終処分量の実績および進捗管理値

| ☆排出抑制が必要な項目 | | | | | | | | | | | | | | (単位:t) | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-----|
| | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗 評価 | |
| | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | | 目標値 |
| 埋立ごみ量 | 2,318 | 1,852 | 2,458 | 1,807 | -293 | 2,100 | 2,028 | 1,955 | 1,883 | 1,810 | 1,738 | 1,665 | 1,593 | 1,520 | ○ |
| 焼却灰等量 | 4,938 | 5,416 | 5,401 | 5,069 | 474 | 4,595 | 4,480 | 4,366 | 4,252 | 4,138 | 4,023 | 3,909 | 3,794 | 3,680 | × |
| 最終処分量 | 7,256 | 7,268 | 7,859 | 6,876 | 181 | 6,695 | 6,508 | 6,321 | 6,135 | 5,948 | 5,761 | 5,574 | 5,387 | 5,200 | × |

※最終処分場の延命化を図るために最終処分量を抑制することが重要と考えています。埋立ごみについては、実績値が進捗管理値よりも排出抑制を達成することができました。しかし、焼却灰等を含む最終処分量は、燃やすごみの排出量が、依然高い水準にあり、進捗管理値を達成できていません。今後も発生抑制の啓発を行い分別意識の向上を促進していきます。

図3 最終処分の実績および進捗管理値

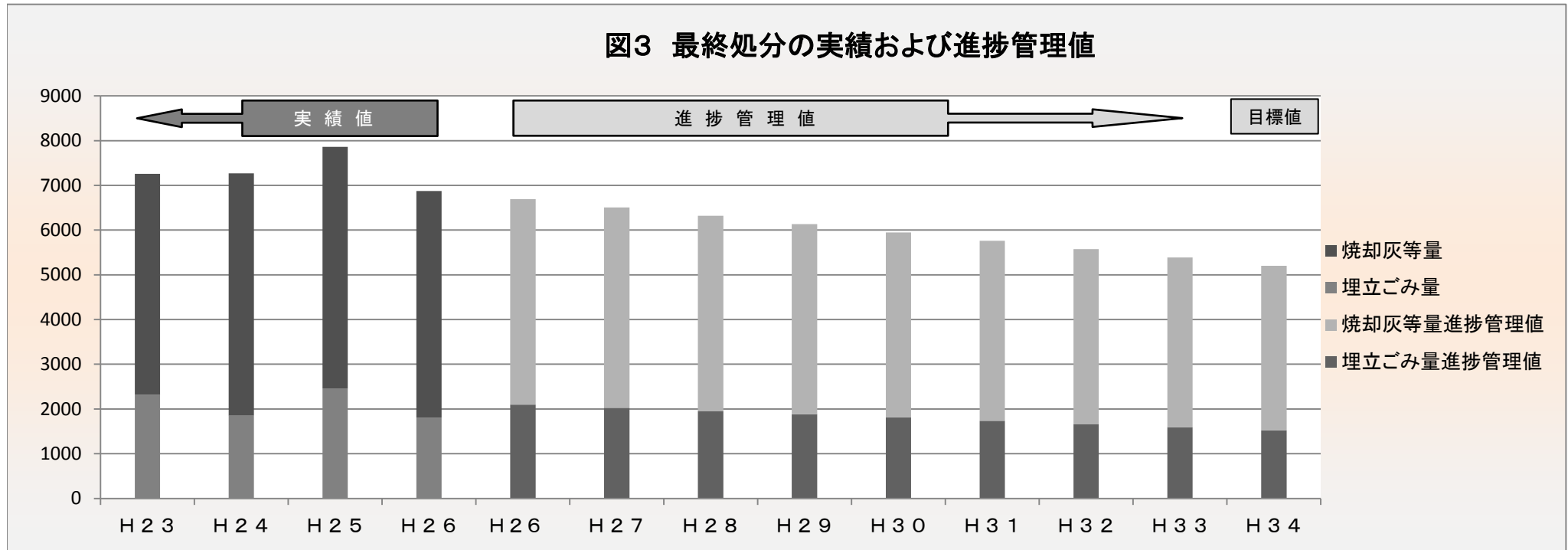


表4 焼却量の実績および進捗管理値

(単位:t)

| ☆排出抑制が必要な項目 | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗評価 | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|--|
| | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | | 目標値 | |
| 燃やすごみ量 | 33,294 | 33,645 | 34,535 | 34,179 | 2,656 | 31,523 | 30,933 | 30,342 | 29,752 | 29,162 | 28,571 | 27,981 | 27,391 | 26,800 | × | |
| 中間処理からの残渣焼却分 | 1,767 | 1,785 | 2,099 | 1,511 | -129 | 1,640 | 1,597 | 1,555 | 1,512 | 1,469 | 1,427 | 1,385 | 1,342 | 1,300 | ○ | |
| 焼却量 | 35,061 | 35,430 | 36,634 | 35,690 | 2,527 | 33,163 | 32,530 | 31,897 | 31,264 | 30,631 | 29,998 | 29,366 | 28,733 | 28,100 | × | |

※彦根市廃棄物総排出量の約80%を占める燃やすごみには、容器包装プラスチックや雑紙など資源化賦存量がかなりあるものと考えており分別徹底は最重要課題と受け止めています。粗大ごみの焼却分は、粗大ごみ量が減少したことにより、焼却分も減少しています。

図4 焼却量の実績および進捗管理値

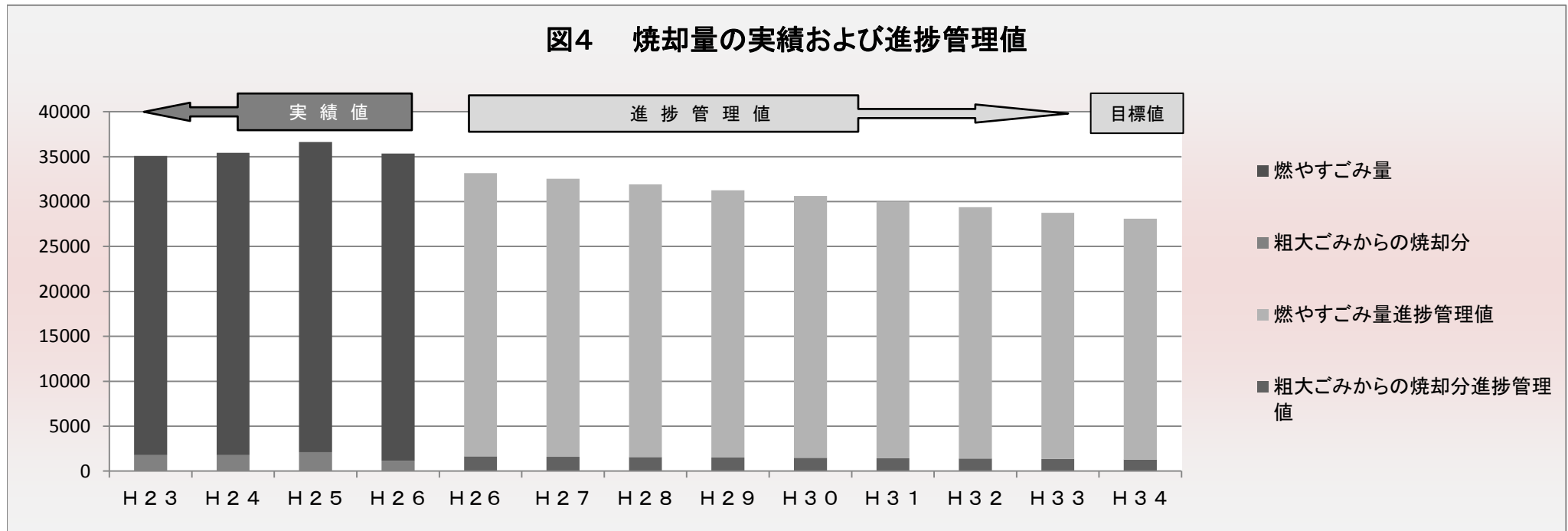


表5 1人1日あたりのごみ等排出量の実績および進捗管理値

(単位:t)

| ☆排出抑制が必要な項目 | | | | | | | | | | | | | | 進捗 評価 | |
|---------------------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---|
| H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 目標値 | | |
| ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | | 目標値 | |
| 人口 | 112,400 | 112,632 | 112,691 | 112,622 | -308 | 112,930 | 112,161 | 112,571 | 113,356 | 113,604 | 112,611 | 111,193 | 111,653 | 112,792 | |
| 1人1日あ たりの排 出量 | 1,086 | 1,072 | 1,112 | 1,050 | 21 | 1,029 | 1,019 | 998 | 975 | 957 | 949 | 945 | 924 | 899 | × |
| 家庭系 | 776 | 754 | 778 | 724 | -4 | 728 | 721 | 709 | 689 | 672 | 665 | 662 | 644 | 622 | ○ |
| 事業系 | 310 | 318 | 334 | 326 | 25 | 301 | 298 | 289 | 286 | 285 | 284 | 283 | 280 | 277 | × |

※1人1日あたりのごみ等の排出量は、平成25年度より、H26年度実績値は減少していますが、進捗管理値には達していません。

図5 1人1日あたりのごみ等排出量の実績および進捗管理値

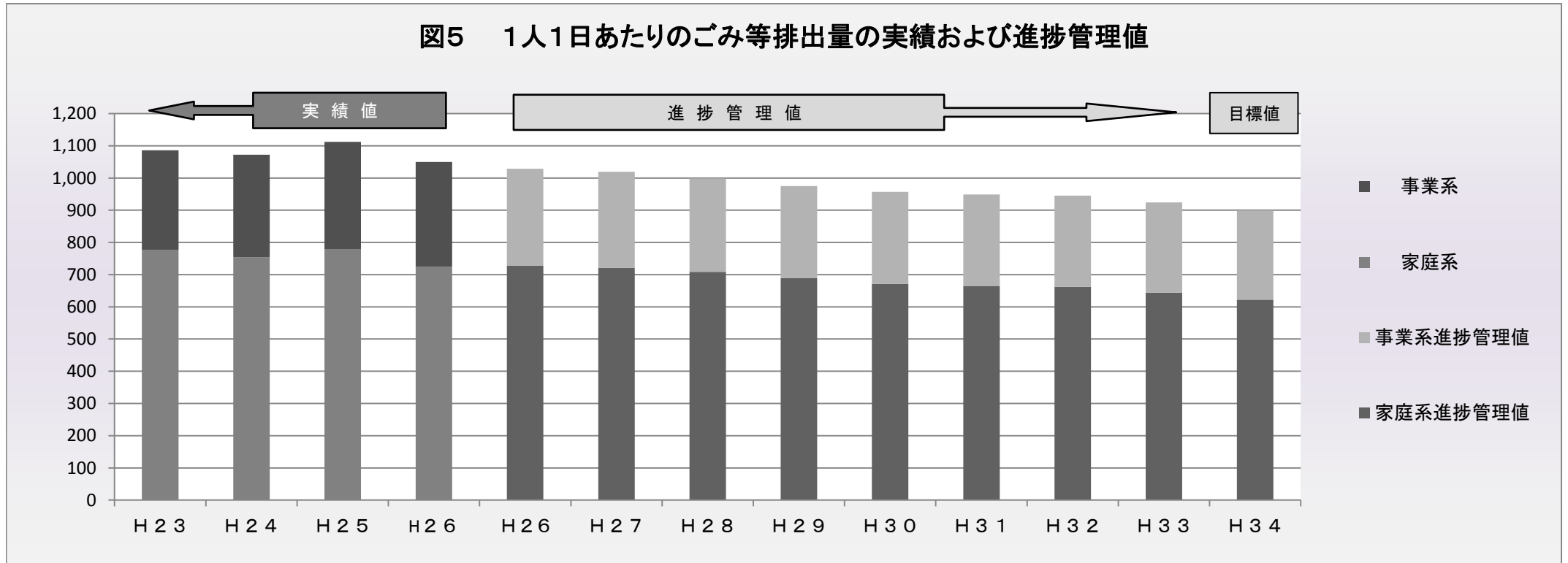


表6 1人1日あたりの生ごみ排出量の実績および進捗管理値

(単位:t)

| | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗評価 | | |
|----------------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|--|
| | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | | 目標値 | |
| 人口 | 112,400 | 112,632 | 112,691 | 112,622 | -308 | 112,930 | 112,161 | 112,571 | 113,356 | 113,604 | 112,611 | 111,193 | 111,653 | 112,792 | | |
| 1人1日あたりの生ごみ排出量 | 417 | 405 | 401 | 391 | -5 | 396 | 386 | 376 | 367 | 357 | 348 | 339 | 329 | 320 | ○ | |
| 家庭系 | 298 | 285 | 281 | 265 | -15 | 280 | 273 | 267 | 259 | 251 | 244 | 237 | 229 | 221 | ○ | |
| 事業系 | 119 | 124 | 120 | 122 | 6 | 116 | 113 | 109 | 108 | 106 | 104 | 102 | 100 | 99 | × | |

※生ごみの約85%は水分と言われています。いまだにこのことを知らずに排出される方がたくさんおられます。生ごみは水切りをするよう広く周知するとともに、堆肥化などの方法も併せて啓発していきます。

図6 1人1日あたりの生ごみ排出量の実績および進捗管理

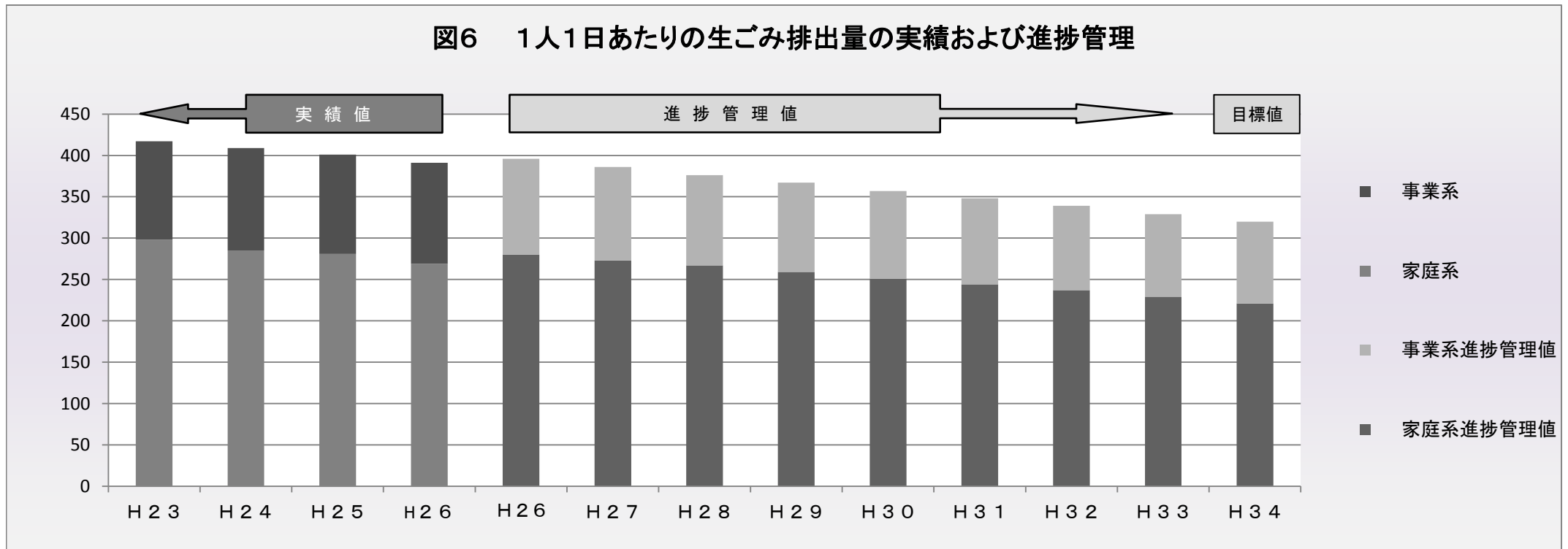


表7-1 古紙・衣類の資源回収量の実績および進捗管理値

☆増えることが望ましい項目

(単位:t)

| 年度 | | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗評価 | | |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--|
| 回収区分 | 種類 | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | | 目標値 | |
| 集団回収量 | 古紙 | 3,013 | 2,819 | 2,719 | 2,571 | -360 | 2,930 | 2,906 | 2,881 | 2,854 | 2,827 | 2,800 | 2,774 | 2,746 | 2,720 | × | |
| | 衣類 | 38 | 34 | 34 | 24 | -14 | 39 | 36 | 33 | 33 | 32 | 32 | 31 | 31 | 30 | × | |
| 行政回収量 | 古紙 | 540 | 529 | 545 | 504 | -91 | 595 | 617 | 636 | 653 | 672 | 690 | 708 | 727 | 746 | × | |
| | 衣類 | 67 | 58 | 55 | 54 | -11 | 65 | 60 | 59 | 59 | 58 | 57 | 57 | 55 | 54 | × | |
| 店舗回収量 | 古紙 | 243 | 563 | 626 | 805 | 287 | 518 | 609 | 701 | 792 | 884 | 975 | 1,067 | 1,158 | 1,250 | ○ | |
| 古紙・衣類回収量合計 | | 3,902 | 4,002 | 3,979 | 3,957 | -243 | 4,200 | 4,228 | 4,310 | 4,391 | 4,473 | 4,554 | 4,637 | 4,717 | 4,800 | × | |

※集団・行政回収の実績値が進捗管理値に達しておらず、店舗回収が進捗管理値を大幅に達成しております。これは店舗回収が、他の回収方法より利便性が高いことを示しており、今後も急速に拡大・成長成長していくと見込んでいます。しかし、古紙賦存量はかなりの量で「燃やすごみ」として処理されており、これらが適正に分別されリサイクルされるよう引き続き啓発等を行います。

図7-1 古紙の資源回収量の実績および進捗管理値

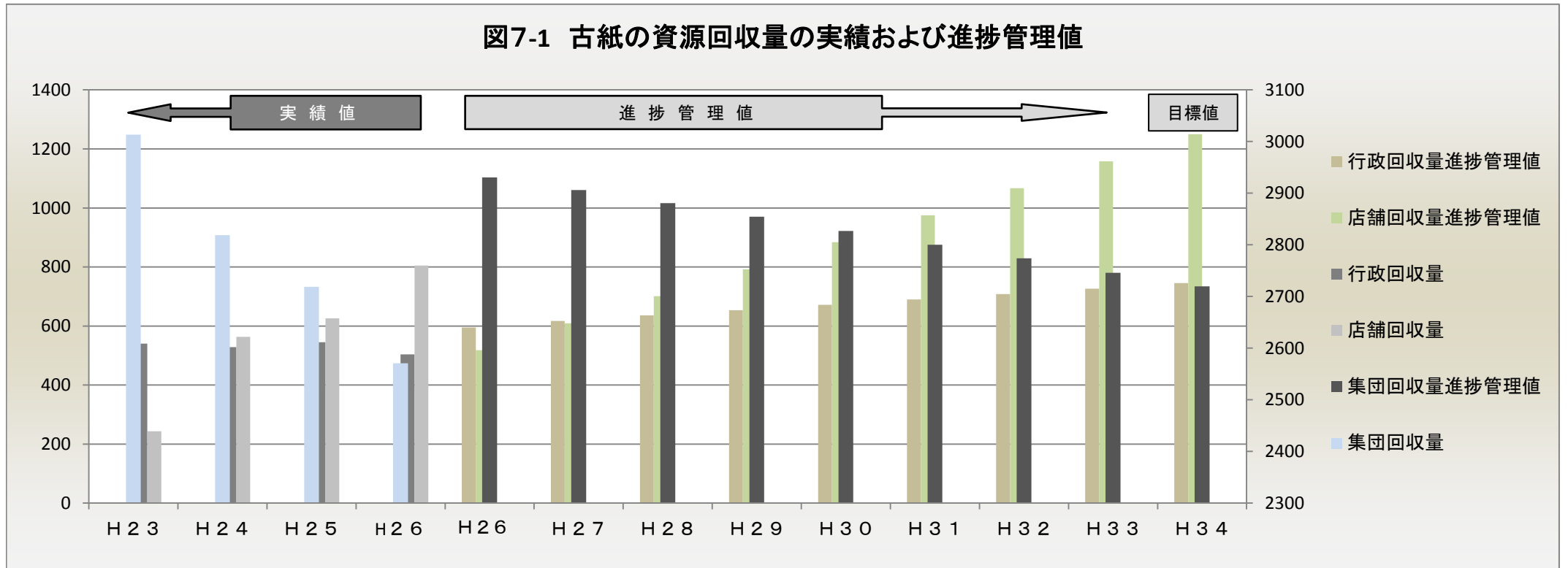


表7-2 古紙・衣類の資源回収量の実績および進捗評価値

☆増えることが望ましい項目

(単位:t)

| 年度 | | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗 評価 | |
|---------|----|------|-----|-----|-------|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|-----|
| 回収区分 | 種類 | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | | 目標値 |
| 集団回収量 | 衣類 | 38 | 34 | 34 | 24 | -14 | 39 | 36 | 33 | 33 | 32 | 32 | 31 | 31 | 30 | × |
| 行政回収量 | 衣類 | 67 | 58 | 55 | 54 | -11 | 65 | 60 | 59 | 59 | 58 | 57 | 57 | 55 | 54 | × |
| 衣類回収量合計 | | 105 | 92 | 89 | 3,957 | -243 | 4,200 | 96 | 93 | 91 | 90 | 89 | 88 | 87 | 85 | × |

図7-2 衣類の資源回収量の実績および進捗管理値

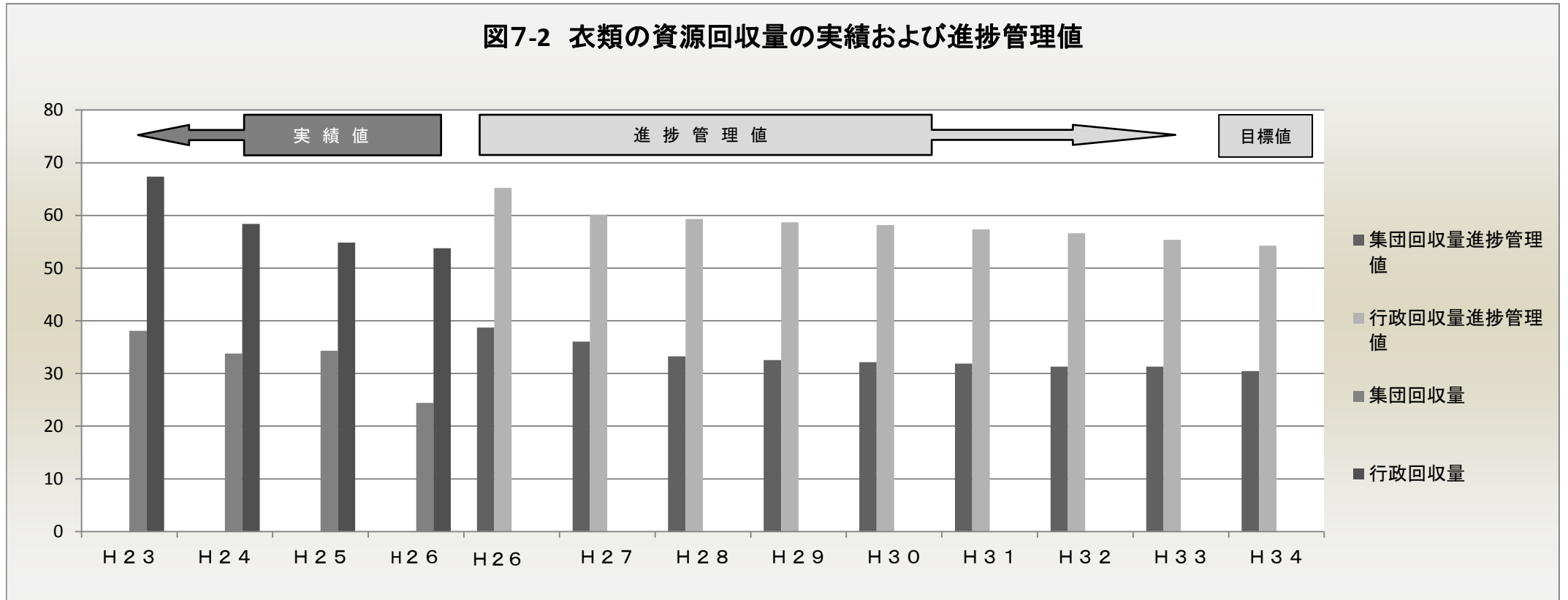


表8 出前講座等の延べ参加者数実績および進捗評価値

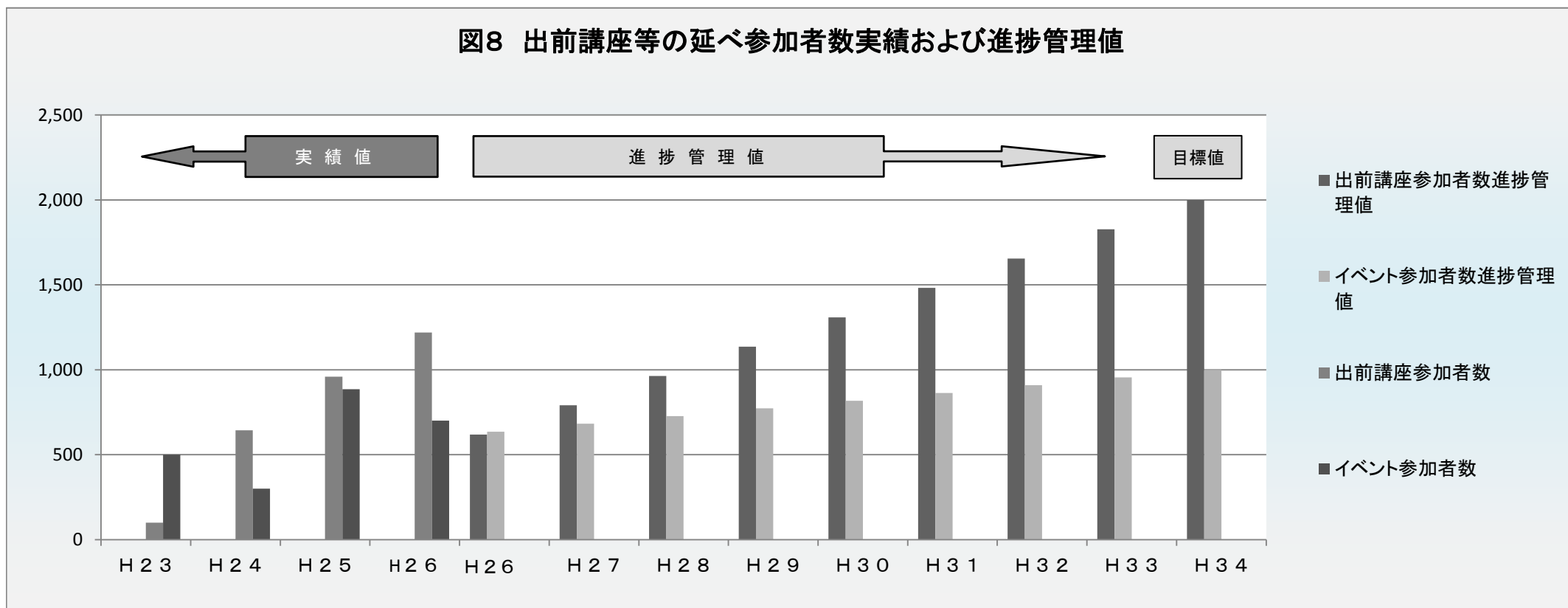
☆増えることが望ましい項目

(単位:t)

| | H23 | H24 | H25 | H26 | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 進捗評価 | |
|----------|------|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| | ①実績値 | | | | H26①-② | ②進捗管理値 | | | | | | | | 目標値 | |
| 出前講座参加者数 | 100 | 643 | 960 | 1,219 | 601 | 618 | 791 | 964 | 1,136 | 1,309 | 1,482 | 1,655 | 1,827 | 2,000 | ○ |
| イベント参加者数 | 500 | 300 | 885 | 700 | 64 | 636 | 682 | 727 | 773 | 818 | 864 | 909 | 955 | 1,000 | ○ |
| 延べ参加者数 | 600 | 943 | 1,845 | 1,919 | 665 | 1,254 | 1,473 | 1,691 | 1,909 | 2,127 | 2,346 | 2,564 | 2,782 | 3,000 | ○ |

※今後も、引き続き自治会中心の出前講座を行っていくこととしていますが、更に学校や事業所向けの出前講座を展開していくことを考えています。

図8 出前講座等の延べ参加者数実績および進捗管理値



彦根市の事業系一般廃棄物については、「許可業者による搬入」「排出者による直接搬入」「自治会の了承を得た上での集積所への排出」の3つの方法で排出されます。特に「許可業者による搬入」に関しては、近隣の処理施設と比べ処理手数料が安価であったことや、搬入物に関する検査が十分にできていなかった為、近隣市町からの不適切な搬入や、不適切な分別による産業廃棄物の混入などの問題を抱えておりました。その為、平成26年9月から搬入物に対する検査を強化し、また平成27年8月からは事業系一般廃棄物の処理手数料を改定することで、搬入される廃棄物の適正化による削減に取り組んでおります。

表9 許可業者による事業系一般廃棄物搬入量の推移

(単位:t)

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-------|-------|-----|-------|--------|
| H25 | 934 | 937 | 845 | 1,053 | 945 | 964 | 1,005 | 955 | 1,049 | 1,021 | 867 | 1,013 | 11,588 |
| H26 | 994 | 987 | 983 | 1,020 | 958 | 984 | 946 | 874 | 1,000 | 933 | 783 | 951 | 11,412 |

図9 許可業者による事業系一般廃棄物搬入量の推移

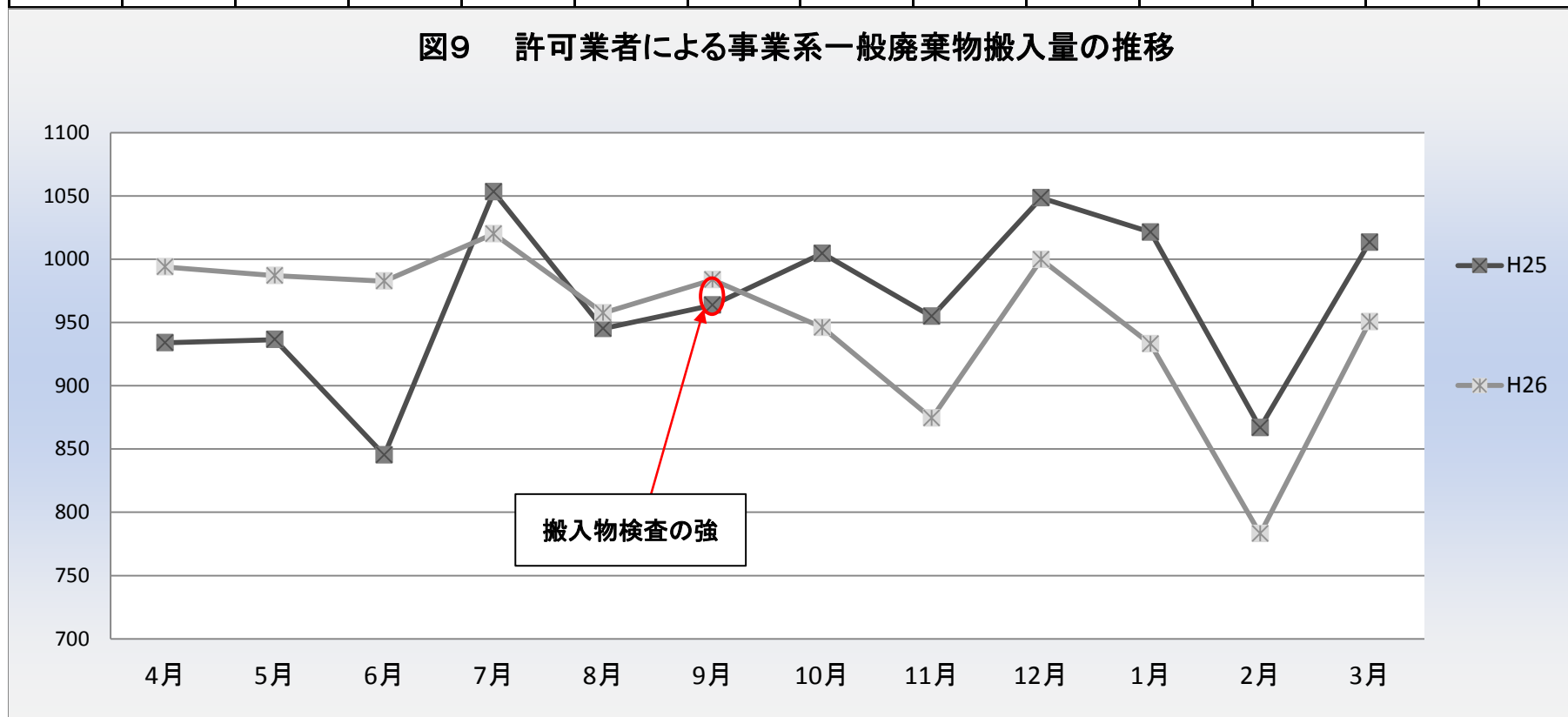


表10 事業系一般廃棄物 直接搬入量の推移

(単位:t)

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-------|
| H25 | 78 | 106 | 193 | 191 | 179 | 148 | 146 | 150 | 121 | 90 | 102 | 80 | 1,584 |
| H26 | 102 | 117 | 204 | 199 | 183 | 161 | 162 | 148 | 137 | 61 | 70 | 112 | 1,656 |

図10 事業系一般廃棄物 直接搬入量の推移

